Infectious Diseases Weekly Report JAPAN
IDWR
2007年第22週（5月28日～6月3日）：通巻第9巻第22号

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律
感染症発生動向調査

感染症週報

厚生労働省／国立感染症研究所

マークをクリックするとそのページを見ることができます

発生動向総覧 P.2-4
＜第22週＞A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多い／その他最新動向

注目すべき感染症 P.5-11
＜麻しん＞第22週の報告数は204例と前週の報告数215例よりも僅かに減少した
＜腸管出血性大腸菌感染症＞2007年の報告数は第17週から増加が認められ、第22週は100例を超え105例であった

病原体情報 P.12-16
麻疹ウイルス 2007年／アデノウイルス3型 2007年／インフルエンザウイルス 2006/07シーズン

速報 P.17
母子感染した新生児麻疹の1例

海外感染症情報 P.18
インドネシアでの鳥インフルエンザ流行状況／エジプトでの鳥インフルエンザ流行状況

感染症の話 P.19
＜今週はお休みです＞

読者のコーナー
＜今週は該当記事はありません＞

グラフ総覧（２２週） P.20-26

２２週のデータ P.27-39

発生動向総覧

※2007年4月からの法改正に伴い、疾病の追加および並び順を一部変更しました。

＜第２２週コメント＞6月6日集計分

◆全数報告の感染症

注意:これは**当該週に診断**された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が集計の期日以降に届くこともあります。それらについては一部を除いて発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることになります。

※感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを示します。

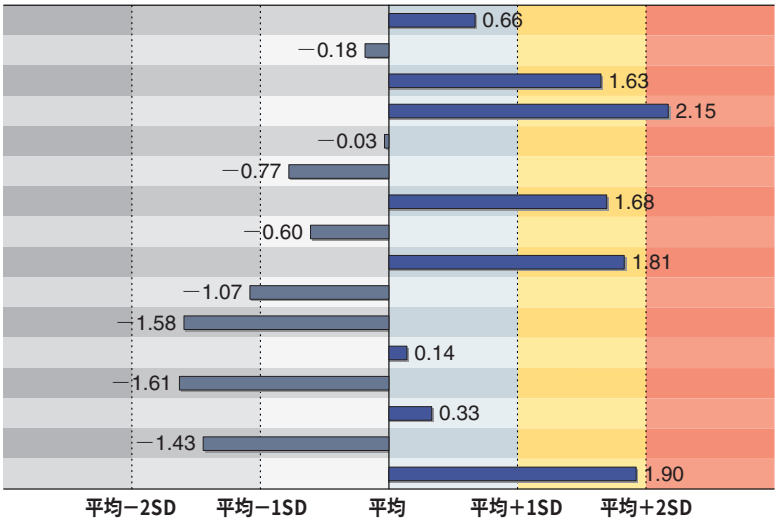
1類感染症:報告なし
2類感染症:**結核** 254例
3類感染症:**コレラ** 1例(感染地域:フィリピン)
細菌性赤痢 7例(感染地域:東京都3例、秋田県1例、千葉県1例、インドネシア1例、エジプト1例)
腸管出血性大腸菌感染症 105例(うち有症者75例、HUS 3例)
感染地域:すべて国内
国内の多い感染地域:東京都58例、大分県13例、千葉県6例
年齢群:10歳未満(20例)、10代(32例)、20代(26例)、30代(10例)、40代(5例)、50代(6例)、60代(3例)、70歳以上(3例)
血清型・毒素型:O157 VT2(62例)、O157 VT1・VT2(15例)、O157 VT1(1例)、O111 VT1・VT2(12例)、O26 VT1(3例)、O91 VT1(2例)、O121 VT2(2例)、O145 VT1(1例)、その他/不明(7例)
腸チフス 1例(感染地域:インド)
4類感染症:**オウム病** 2例
(感染地域:ともに和歌山県. 感染源:インコ1例、不明1例)
つつが虫病 4例
(感染地域:秋田県1例、山形県1例、福島県1例、熊本県1例)
日本紅斑熱 3例(感染地域:和歌山県1例、島根県1例、鹿児島県1例)
マラリア 1例(熱帯熱__感染地域:ガーナ)
レジオネラ症 11例(肺炎型10例、無症状病原体保有者1例)
年齢群:20代1例、50代3例、60代1例、70代4例、80代2例
感染地域:宮城県1例、秋田県1例、神奈川県1例、岐阜県1例、鳥取県1例、広島県1例、熊本県1例、国内(都道府県不明)3例、中国(温泉)1例
5類感染症:**アメーバ赤痢** 7例(腸管アメーバ症5例、腸管外アメーバ症2例)
感染地域:国内6例、インドネシア1例
感染経路:経口1例、性的接触(異性間)1例、性的接触(異性間/同性間)/野生動物1例、不明4例
急性脳炎 3例〔すべて病原体不明(1歳、20代、90代)〕
クロイツフェルト・ヤコブ病 2例(ともに遺伝性プリオン病家族性)
後天性免疫不全症候群 9例(無症候5例、その他4例)
感染地域:国内8例、ウガンダ1例
感染経路:性的接触6例(異性間4例、同性間2例)、不明3例
梅毒 10例
(早期顕症I期2例、早期顕症II期3例、晩期顕症2例、無症候3例)
破傷風 3例(60代1例、80代2例)
バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1例
(遺伝子型:*VanC*__菌検出検体:胆汁)

(補)他に報告遅れとして、細菌性赤痢1例(感染地域:茨城県)、E型肝炎4例〔感染地域(感染源):愛知県3例(いのしし生肉1例、不明2例)、栃木県1例(不明)〕、レジオネラ症2例〔ともに肺炎型__感染地域:山形県(温泉)1例、香川県(温泉)1例〕、急性脳炎7例〔ロタウイルス1例(9歳)、A型インフルエンザウイルス1例(0歳)、病原体不明5例(1歳3例、3歳、30代)〕、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例(80代)などの報告があった。

◆定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

定点把握疾患の報告の過去5年間の同時期との比較(第22週)



	定点当たり報告数
インフルエンザ	0.57
咽頭結膜熱	0.46
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.60
感染性胃腸炎	6.23
水痘	2.35
手足口病	0.45
伝染性紅斑	0.78
突発性発しん	0.74
百日咳	0.02
風しん	0.01
ヘルパンギーナ	0.42
麻しん	0.07
流行性耳下腺炎	0.53
急性出血性結膜炎	0.03
流行性角結膜炎	0.85
マイコプラズマ肺炎	0.47

SD:標準偏差

当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)との差をグラフ上に表現した。

インフルエンザ:定点当たり報告数は第12週以降減少が続いている。都道府県別では沖縄県(7.9)、秋田県(3.0)、岩手県(2.6)、宮城県(2.2)が多い。

小児科定点報告疾患:**RSウイルス感染症**は222例の報告があり、報告数は減少した。年齢別では、1歳以下の報告数が全体の約69%を占めている。**咽頭結膜熱**の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では富山県(1.48)、島根県(1.13)、石川県(1.00)、広島県(0.92)が多い。**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別では富山県(5.5)、群馬県(4.4)、埼玉県(4.2)、三重県(4.1)が多い。**感染性胃腸炎**の定点当たり報告数は2週連続で減少したが、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では鳥取県(11.2)、大分県 (11.1)、滋賀県(10.2)、福井県(9.6)が多い。**水痘**の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別では福井県(4.5)、徳島県(3.5)、佐賀県(3.5)が多い。**手足口病**の定点当たり報告数は第19週以降増加が続いている。都道府県別では熊本県(4.0)、佐賀県(2.1)、長崎県(1.9)が多い。**伝染性紅斑**の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では長野県(2.4)、富山県(2.2)、新潟県(2.0)、石川県(1.9)が多い。**百日咳**の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では栃木県(0.09)、千葉県(0.08)、熊本県(0.08)が多い。**風しん**の報告数は横ばいであった。都道府県別では大阪府4例、千葉県3例、栃木県、神奈川県、三重県、京都府、奈良県、和歌山県、広島県、徳島県、香川県、沖縄県から各1例の順であった。**ヘルパンギーナ**の定点当たり報告数は第19週以降増加が続いている。都道府県別では宮崎県(2.4)、山口県(2.1)、島根県(2.1)が多い。**麻しん**の報告数は微減し、30都道府県から204例の報告があった。都道府県別では千葉県44例、神奈川県29例、埼玉県27例、東京都22例、北海道17例、福岡県9例、大阪府8例、愛知県6例、岡山県、広島県から各5例、山梨県、鹿児島県から各4例、福島県、栃木県、新潟県、福井県、静岡県、徳島県から各2例の順であった。**流行性耳下腺炎**の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では新潟県(1.6)、秋田県(1.5)、三重県(1.3)が多い。

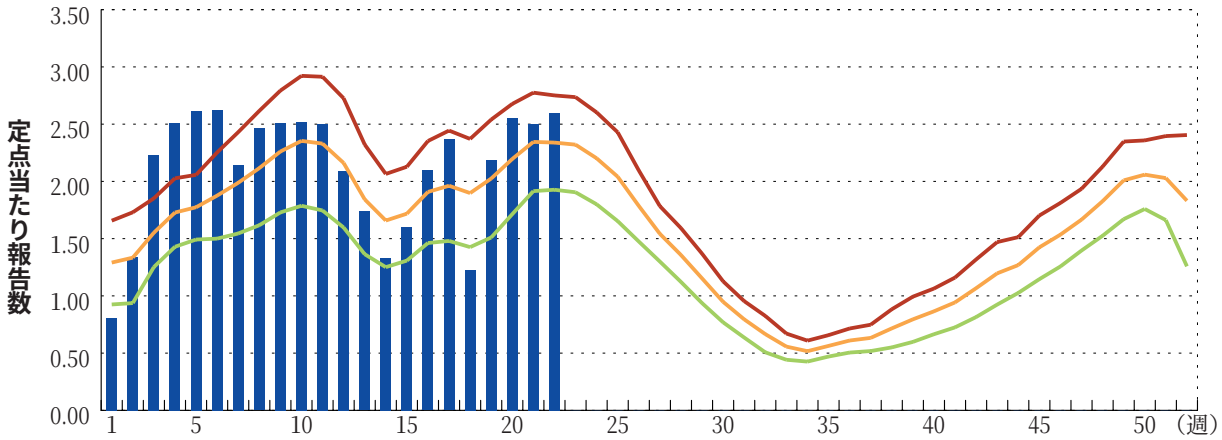
基幹定点報告疾患:**マイコプラズマ肺炎**の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では福島県(2.6)、沖縄県(2.1)、富山県(1.8)が多い。**成人麻しん**の報告数は減少し16都道府県から65例の報告があった。都道府県別では、東京都23例、神奈川県12例、宮城県9例、広島県5例、北海道、福島県、埼玉県、新潟県から各2例、青森県、群馬県、千葉県、石川県、福井県、山梨県、長野県、大阪府から各1例の報告があった。

図. 主要定点把握疾患の過去5年間との週別比較(2007年第1～22週)

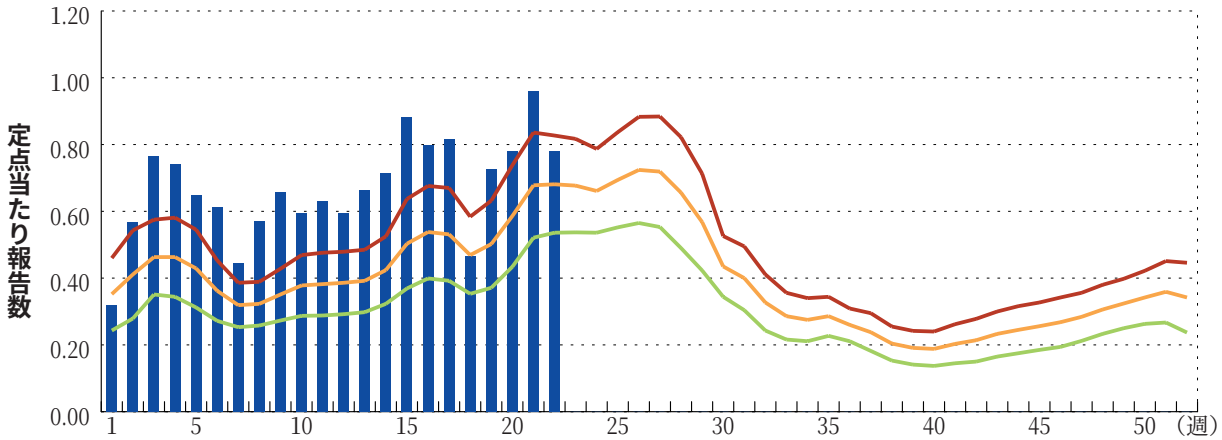
青のバーで示す本年の定点当たり報告数が赤のラインを超えているときには、過去5年間の週と比較してかなり多いことを示す。

*過去5年間の平均:前週、当該週、後週の合計15週の平均

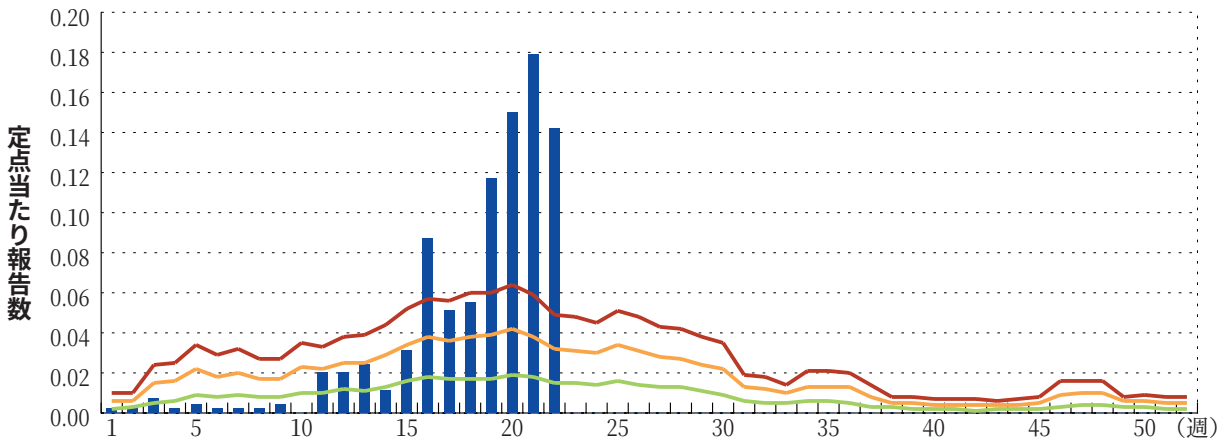
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



伝染性紅斑



成人麻しん



注目すべき感染症

◆麻しん

麻しんは麻疹ウイルス(Paramyxovirus科Morbillivirus属)によって引き起こされる感染症であるが、空気感染(飛沫核感染)、飛沫感染、接触感染と様々な感染経路を示し、その感染力は極めて強い。特異的な治療法はなく、カタル期・発疹期を合わせると1週間以上高熱が続き、入院率や肺炎、脳炎、中耳炎などの合併症発生率が未だに高い疾患である。典型的な麻しんを発症した場合、感染後10日間前後の潜伏期を経てカタル期に至るが、このカタル期はコプリック斑を除けば麻疹に特異的な症状に乏しく、この期間中に麻しんと診断されることのないままに発病者から感染を拡大させてしまう場合も少なくない。

感染症発生動向調査によると、全国約3,000カ所の小児科定点からの麻しんの報告数は2007年第22週には30都道府県から204例(定点当たり報告数0.068)と前週の報告数215例(定点当たり報告数0.071)よりも僅かに減少した(**図1**)。都道府県別では千葉県44例、神奈川県29例、埼玉県27例、東京都22例、北海道17例、福岡県9例、大阪府8例、愛知県6例、岡山県、広島県から各5例、山梨県、鹿児島県から各4例、福島県、栃木県、新潟県、福井県、静岡県、徳島県から各2例の順であり、南関東地域(千葉県、埼玉県、神奈川県、東京都)からの報告数は122例(総報告数の59.8%)と前週よりも増加がみられているが、これは千葉県、神奈川県の増加が続いていることが影響している。2007年第1～22週までの小児科定点からの累積報告数は1,321例(定点当たり報告数0.44)であり、都道府県別では埼玉県249例、千葉県211例、東京都195例、神奈川県124例、北海道71例、栃木県52例、大阪府49例、宮城県43例、茨城県、広島県から各31例、山梨県30例、鹿児島県23例、長野県、愛知県から各21例、福岡県20例、兵庫県、徳島県、香川県から各17例、岡山県14例、群馬県12例の順となっている(**図2**)。累積報告数の年齢別割合では、0～4歳の報告割合は37.4%と例年(55～67%)と比べて低く、10～14歳の報告割合は30.4%と例年(5～15%)よりも高い状態が続いている(**図3**)。

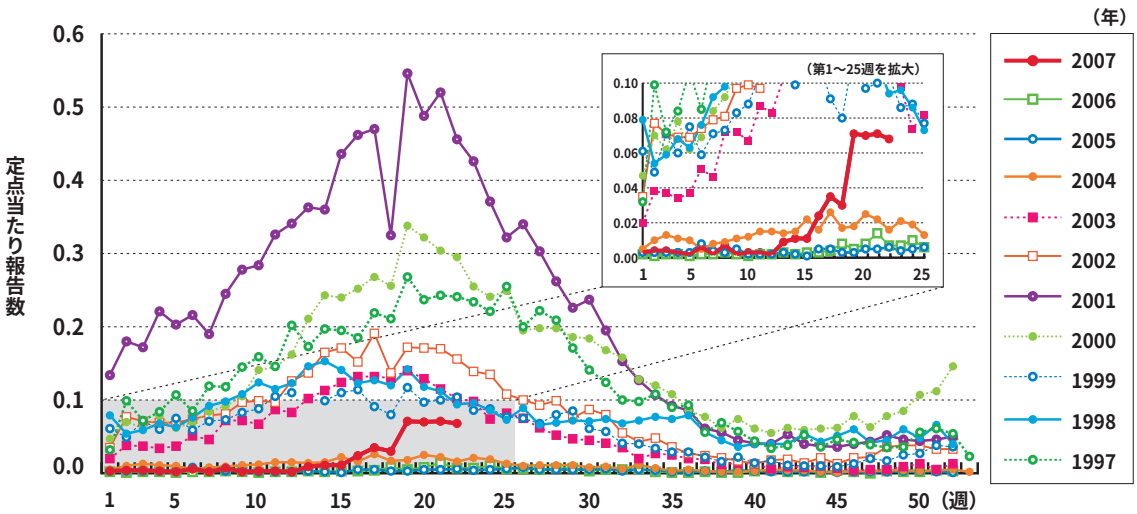


図1. 麻しんの年別・週別発生状況(1997年～2007年第22週)

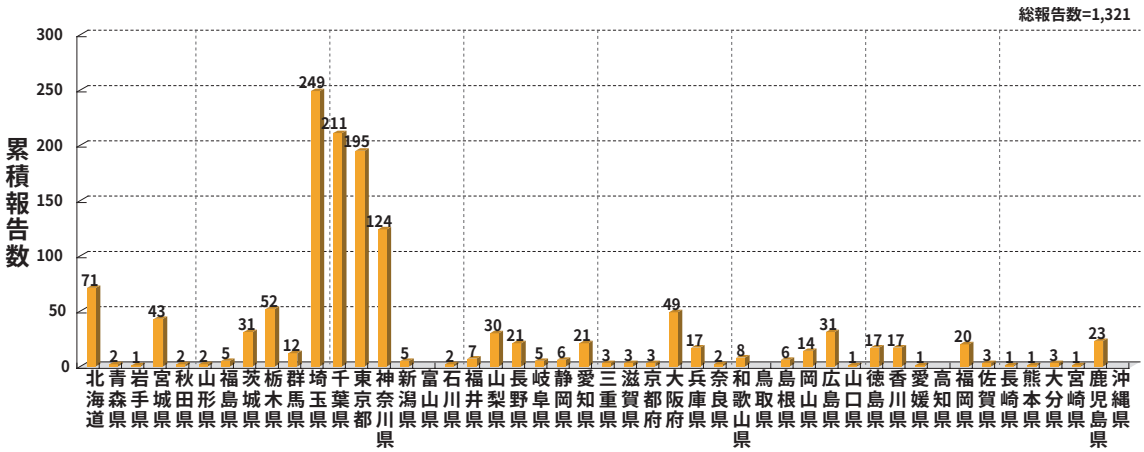


図2. 麻しんの都道府県別累積報告状況(2007年第1～22週)

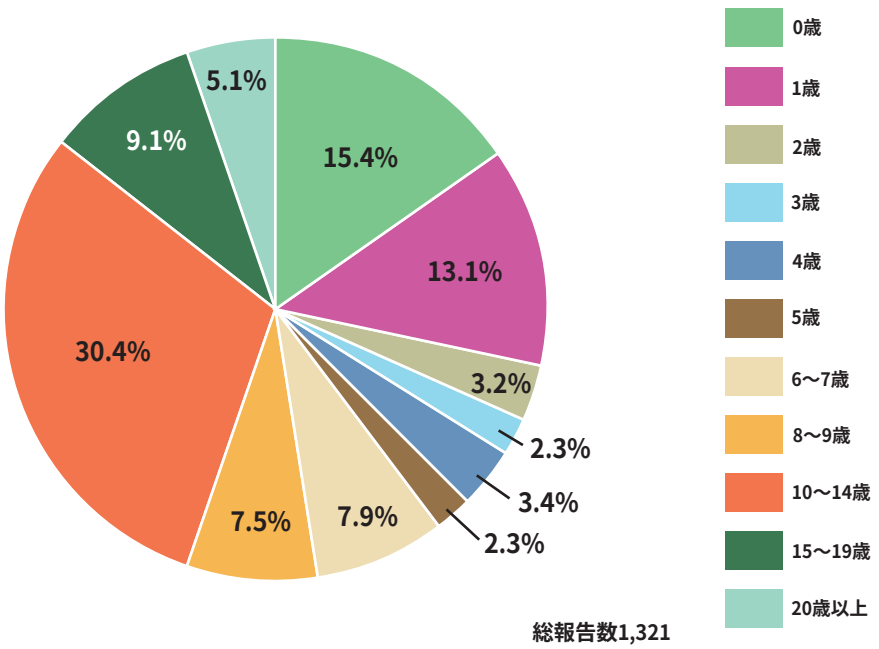


図3. 麻しんの報告症例の年齢群別割合(2007年第1～22週)

全国約450カ所の基幹定点からの成人麻しん(届出対象は15歳以上)の2007年第22週の報告は16都道府県から65例(定点当たり報告数0.142)となり、5月に入って継続が続いていた成人麻しんの報告数は減少した(**図4**)。都道府県別では、東京都23例、神奈川県12例、宮城県9例、広島県5例、北海道、福島県、埼玉県、新潟県から各2例、青森県、群馬県、千葉県、石川県、福井県、山梨県、長野県、大阪府から各1例の報告があった。2007年第1～22週までの累積報告数は475例(定点当たり報告数1.05)であり、都道府県別では東京都166例、神奈川県66例、宮城県49例、埼玉県36例、北海道15例、千葉県、長野県から各11例、茨城県、群馬県、広島県から各9例、山形県、福島県、石川県、大阪府から各8例、新潟県7例、岩手県、島根県から各6例の順となっている(**図5**)。宮城県、神奈川県からの報告数の増加は継続している。累積報告数の年齢別では、20～24歳(31.6%)、25～29歳(23.5%)、15～19歳(23.0%)の順であり、34歳以下で全報告数の約90%を占めている(**図6**)。

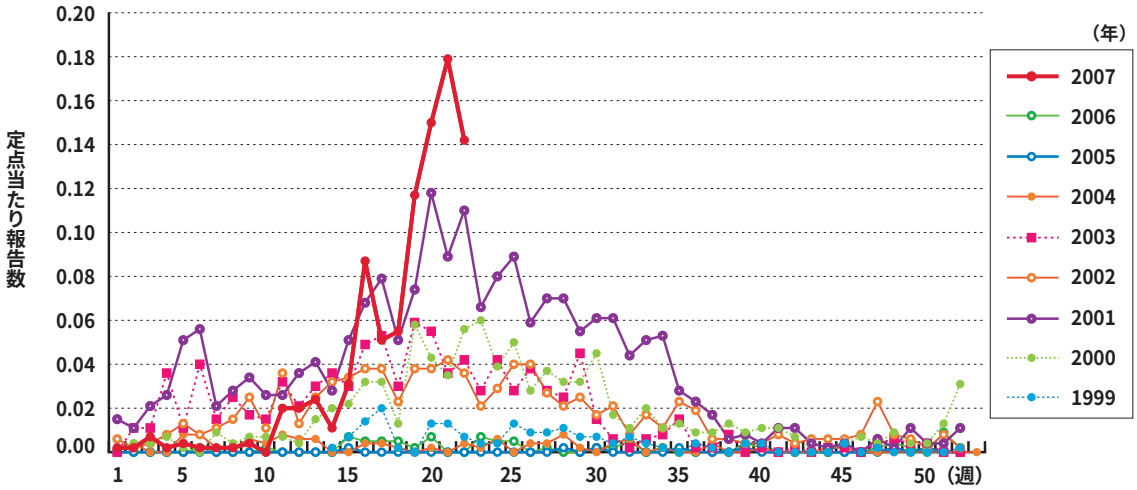


図4. 成人麻しんの年別・週別発生状況(1999年～2007年第22週)

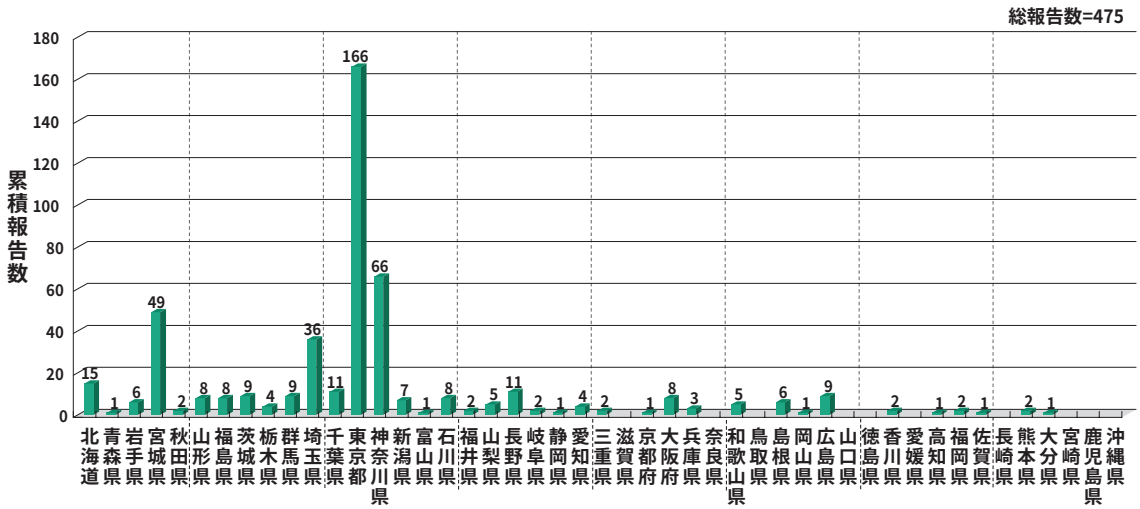


図5. 成人麻しんの都道府県別累積報告状況(2007年第1～22週)

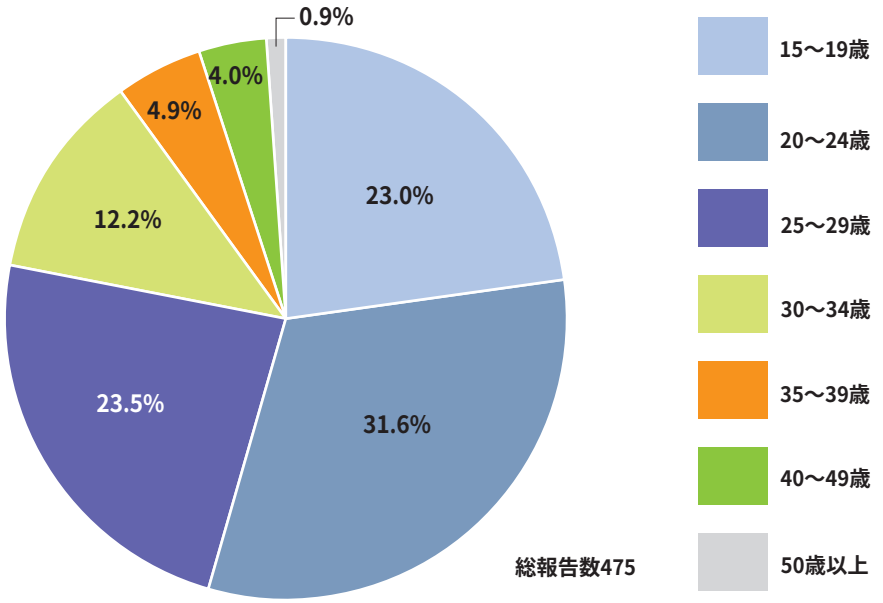


図6. 成人麻しんの報告症例の年齢群別割合(2007年第1～22週)

全国の衛生研究所における麻疹ウイルスの分離・検出状況をみると、2007年は6月7日現在52件の報告があり、そのうちウイルスの遺伝子型別が実施された29件は全てD5型であった(詳細は本号12ページ病原体情報参照、最新の報告数は感染症情報センターホームページ:https://hasseidoko.mhlw.go.jp/Byogentai/Pdf/data61j.pdf に掲載)。

第22週までの発生動向をみると、小児科定点からの麻しんの報告数は第19週以降は横ばい状態となり、第22週はやや減少傾向を示している。また成人麻しんの報告数は5月に入って増加が続いていたが、第22週は減少がみられた。ただ、麻しん、成人麻しん共に南関東地域や他の地域も含めてまだ増加傾向にあるところも存在しており、麻しん及び成人麻しんの発生動向は依然として注意深い観察が必要である。

アメリカ合衆国を含めたアメリカ大陸の全ての国々や、西ヨーロッパの多くの国々では麻疹は国内から『排除』されており、最近では韓国でも『排除』が達成された。日本では未だにこのような麻疹の流行がみられており、ワクチンの接種制度や麻疹流行時の対応といった、麻疹への対策は上記の麻疹『排除』国と比べて大きく遅れているといわざるを得ない。現行の麻疹関連ワクチン(麻疹・風疹混合ワクチンもしくは麻疹ワクチン)の定期接種対象年齢者に対するより積極的なワクチンの接種勧奨と高い接種率の維持は、麻疹対策の根幹として今後も重要であることはいうまでもない。加えて、今回の麻疹の流行によって多数の発病者がみられた麻疹ワクチンを1回接種している世代(麻疹ワクチンは1978年から定期接種として実施されており、当時の1歳児は現在の29～30歳となる)に対する麻疹感受性者対策や、学校や施設等における麻疹アウトブレイク時の積極的な対応が、今後同様の流行を繰り返さないためには必要であると思われる。

以下に、麻しん関連情報として感染症情報センターのホームページに掲載されている主な項目とそのURLを挙げる。麻しん対策として活用いただければ幸いである。

●麻疹（はしか）：http://idsc.nih.go.jp/disease/measles/index.html
□緊急情報
□関連情報（注目すべき感染症/速報「麻しん」、施設別発生状況（学校欠席者数）、医療機関での麻疹の対応について、保育園・幼稚園・学校等での麻しん患者発生時の対応マニュアル）
□国内情報（麻疹の現状と今後の麻疹対策について、我が国の健常人における麻疹PA抗体保有率、病原微生物検出情報［IASR］麻疹特集、ウイルス検出状況他）
●Q&A：http://idsc.nih.go.jp/disease/measles/QA.html
●麻疹発生DB（データベース）：http://idsc.nih.go.jp/disease/measles/meas-db.html
●予防接種の話「麻疹」：http://idsc.nih.go.jp/vaccine/b-measles.html
●年齢別麻疹、風疹、MMRワクチン接種率：http://idsc.nih.go.jp/vaccine/atopics/atpcs001.html
●感染症の話「麻疹」：http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/k03/k03_03/k03_03.html
●「麻疹・風疹ワクチンなぜ2回接種なの？」ポスター：http://idsc.nih.go.jp/vaccine/cpn01.html
●「麻疹風疹混合ワクチンを1歳のお誕生日のプレゼントにしましょう」ポスター：
http://idsc.nih.go.jp/vaccine/cpn04.html
●「小学校入学準備に2回目の麻疹・風疹ワクチンを！」ポスター：
http://idsc.nih.go.jp/vaccine/cpn07.html
●2006年度第2期麻疹・風疹ワクチン接種に関する全国調査－2006年10月1日現在中間評価－：
http://idsc.nih.go.jp/iasr/rapid/pr3252.html

◆腸管出血性大腸菌感染症

腸管出血性大腸菌感染症は、感染症法の3類感染症として、無症状病原体保有者を含む症例の報告が、診断した全ての医師に義務付けられている。無症状病原体保有者は、食品産業従事者の検便によって偶然発見される場合もあるが、届け出された患者と食事をともにした者や、接触者の調査などによって発見される場合が多い。届出の基準としては、大腸菌の分離・同定かつ分離菌のベロ毒素の確認が必要であるが、2006年4月からは、溶血性尿毒症症候群(HUS)発症例に限り、病原体の分離ができない場合であっても、便からのベロ毒素の検出や血清抗体(O抗原凝集抗体あるいはベロ毒素抗体)の検出によって診断された場合も届け出の対象とされている。

2007年の腸管出血性大腸菌感染症の報告数は第17週から増加が認められ、第19週に50例となった。第22週は東京都における集団発生の影響もあり、100例を超え105例であった(**図**)。本年第22週までの累積報告数513例は、現在までのところ例年(2000年499例、2001年884例、2002年599例、2003年351例、2004年503例、2005年481例、2006年503例。7年間の平均546例)と比べて多くはない。

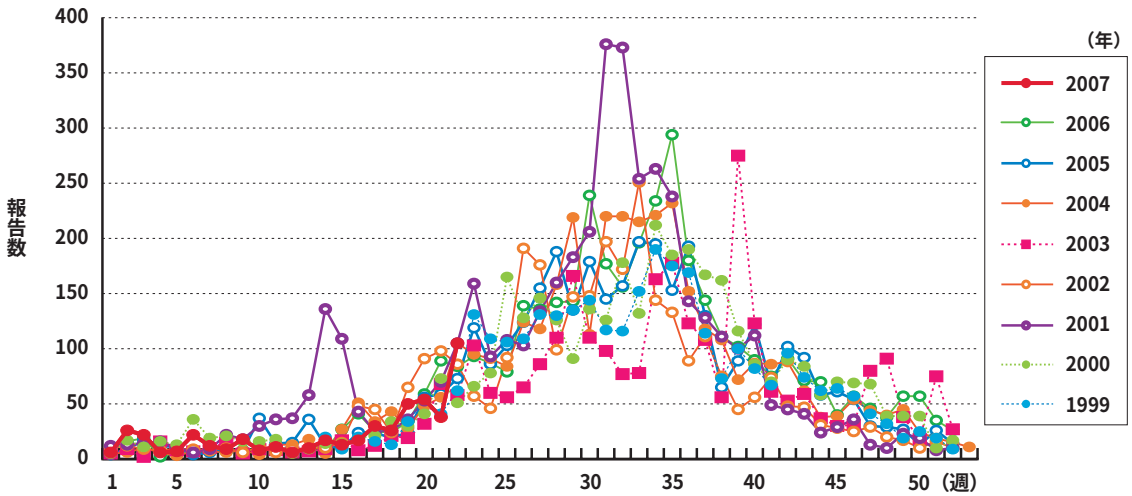


図. 腸管出血性大腸菌感染症(無症状病原体保有者含む)の年別・週別発生状況
(1999年4月～2007年22週)

第22週に報告のあった105例は、有症状者が75例(71%)で、無症状病原体保有者が30例(29%)であった。報告の多かった都道府県は前述のように東京都(51例)がほぼ半数を占め、次いで大分県(14例)、埼玉県(7例)、千葉県(7例)であった。感染地域はすべて国内であり、東京都(58例)、大分県(13例)、千葉県(6例)が多かった。東京都では学校の学生食堂における食中毒による集団発生が、大分県では幼稚園に関連した集団発生がみられている。性別では男性45例、女性60例であり、年齢群別では10～19歳32例、20～29歳26例、0～9歳20例の順に多かった。

第1～22週の累積報告数513例についてみると、報告の多い都道府県は、東京都(73例)、福岡県(47例)、石川県(32例)、大阪府(31例)、千葉県(29例)、広島県(25例)である。性別では男性210例、女性303例であり、年齢群別では0～9歳149例、10～19歳90例、20～29歳88例の順に多い。

溶血性尿毒症症候群（HUS）は、第22週に報告遅れ分や追加報告を含み4例報告があり、累積では18例の報告となった。18例のうち2例は便からのベロ毒素の検出、5例は血清抗体の検出により届け出られたものである。2007年は第22週まで死亡例の報告はない。HUSなどの合併症や死亡については、届け出時点以降での情報が十分反映されていない可能性があり、このような情報があった場合には追加・修正報告をお願いしている。

本年第22週には既に学校における大規模な集団発生が見られており、今後、毎年本症が数多く発生する夏季を迎えるにあたり、報告数はさらに増加するものと予想されるので、その発生動向には注意が必要である。食品の取り扱いには十分注意して食中毒の予防を徹底するとともに、手洗いの励行などにより、ヒトからヒトへの二次感染を予防することが大切である。特に、保育施設における集団発生は例年散見されている。保育施設では、腸管出血性大腸菌感染症に限らず、日常の感染予防策として、オムツ交換時の手洗い、園児に対する食前・食後の手洗い指導を徹底し、特にこれからの季節は簡易プールなどの衛生管理にも注意を払う必要がある。また2006年には、動物とのふれあい体験での感染と推定される事例が報告されており（IASR Vol.27 No.10 p11-12 http://idsc.nih.go.jp/iasr/27/320/pr3208.html、IASR Vol.28 No.1 p13-14 http://idsc.nih.go.jp/iasr/28/323/pr3233.html、IASR Vol.28 No.2 p16-17 http://idsc.nih.go.jp/iasr/28/324/kj3241.html、IASR Vol.28 No.4 p14-16 http://idsc.nih.go.jp/iasr/28/326/kj3263.html）、動物との接触後には充分な手洗いを行うよう注意する必要がある。

（補）菌の検出状況については、http://idsc.nih.go.jp/iasr/prompt/graph-lj.html をご参照ください。

病原体情報

＊グラフはIASRホームページ(http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html)からの引用です。

各都道府県市の地方衛生研究所(地研)からの検出報告です。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

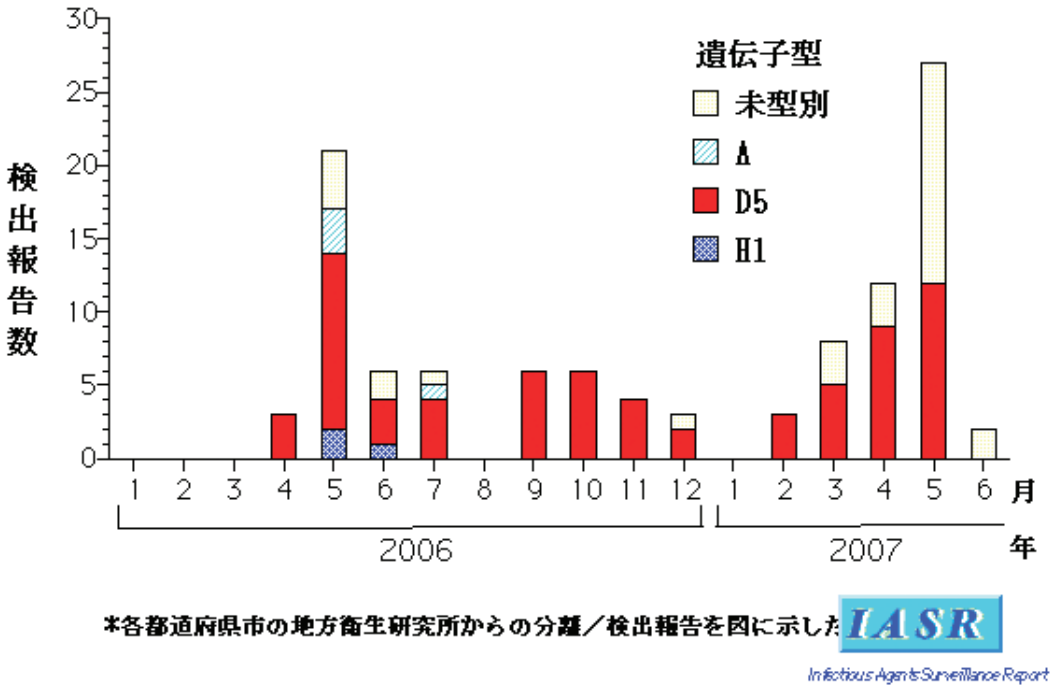
(2007年6月7日現在報告分)

◆麻疹ウイルス　2007年

2007年2～6月に麻疹ウイルスの分離・検出報告が増加しており、山形県、茨城県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、大阪府、兵庫県、島根県、佐賀県、沖縄県の11都府県から計52件が報告されている。このうち、遺伝子型別まで実施された29件ではすべてD5型が検出されている。

D5型は2006年4～7月に千葉県(13件)と茨城県(9件)、9～12月に沖縄県(18件)から報告されていた。

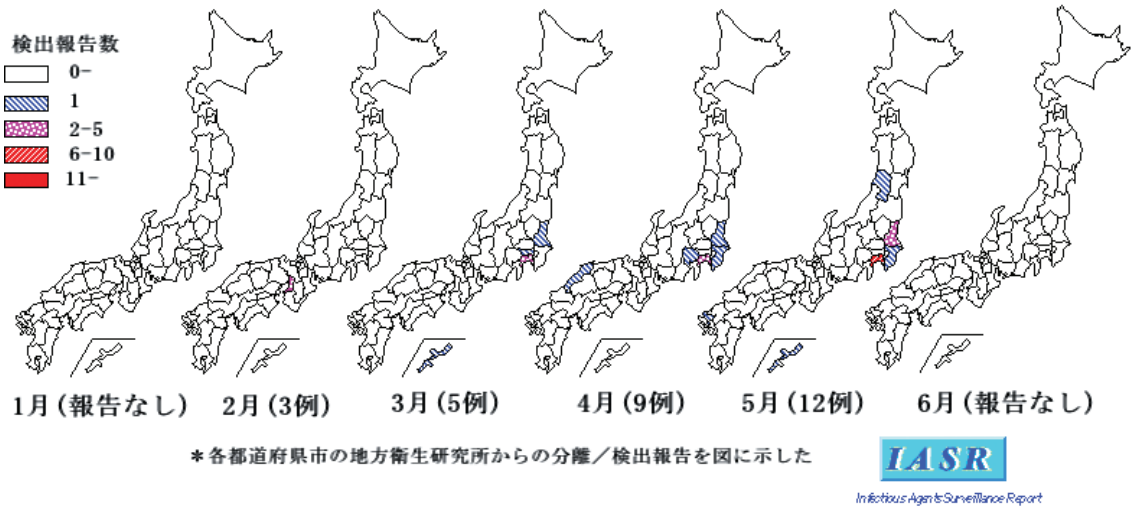
図1．月別麻疹ウイルス分離・検出報告数、2006年1月～2007年6月
(病原微生物検出情報：2007年6月7日現在報告数)



＊各都道府県市の地方衛生研究所からの分離／検出報告を図に示した IASR Infectious Agents Surveillance Report

月別都道府県別麻疹ウイルスD5型分離・検出報告状況、2007年

（病原微生物検出情報：2007年6月7日現在報告数）



＊各都道府県市の地方衛生研究所からの分離／検出報告を図に示した

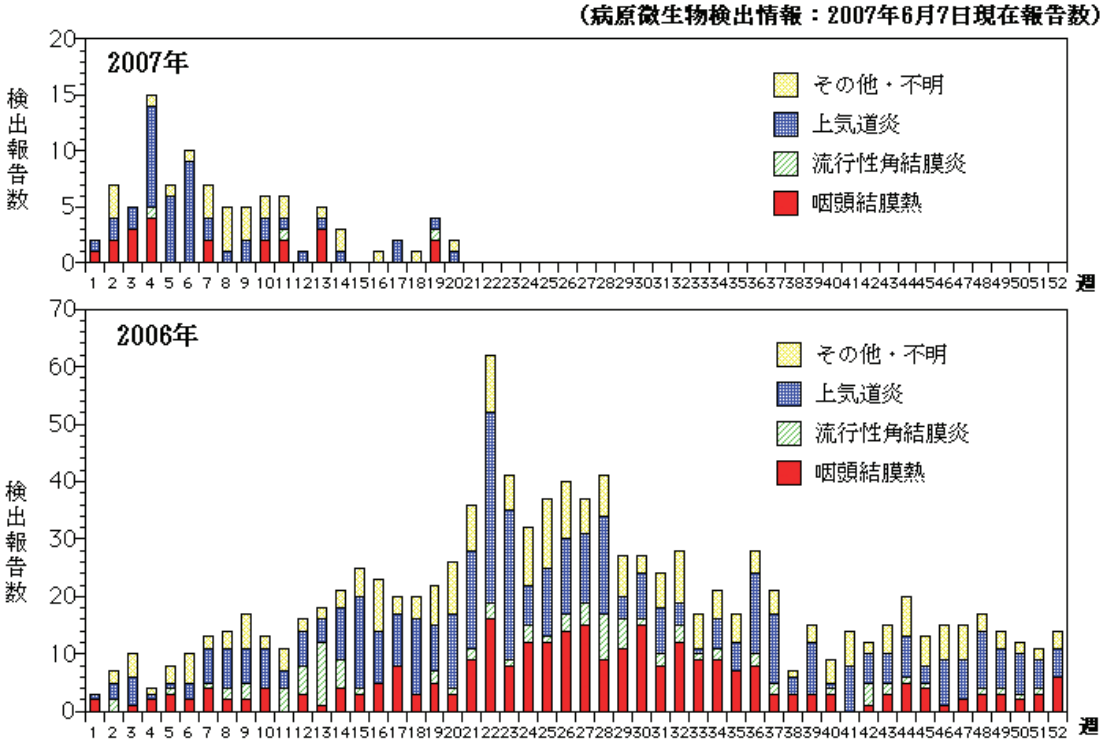
IASR
Infectious Agents Surveillance Report

◆アデノウイルス3型　2007年

広島県17件、山形県16件、千葉県、兵庫県各10件、鳥取県8件、栃木県5件、群馬県、新潟県、長野県各3件など22府県から計94件が報告されており、検出例の診断名は、上気道炎44件、咽頭結膜熱21件、流行性角結膜炎3件、インフルエンザ・インフルエンザ様疾患14件、下気道炎5件、かぜ症候群、腸重積症各1件などが報告されている。

週別アデノウイルス３型分離・検出報告数、2006年＆2007年

（病原微生物検出情報：2007年6月7日現在報告数）

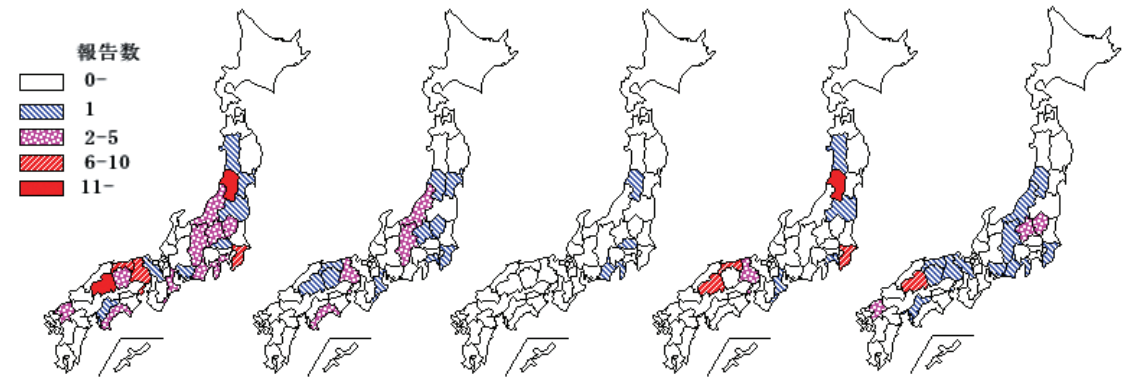


＊ 各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した

IASR
Infectious Agents Surveillance Report

都道府県別診断名別アデノウイルス３型分離・検出報告状況、2007年

（病原微生物検出情報：2007年6月7日現在報告数）



＊各都道府県市の地方衛生研究所からの分離／検出報告を図に示した

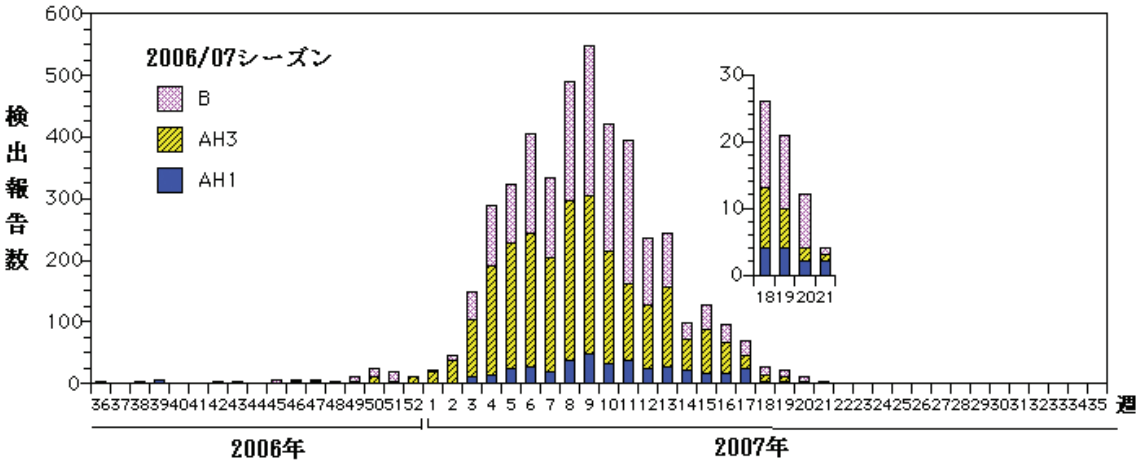
IASR
Infectious Agents Surveillance Report

◆インフルエンザウイルス　2006/07シーズン

2007年第9週をピークに報告が減少しているが、第19～20週に北海道でB型の検出が再増加している。直近の4週間（第19～22週）では、AH1亜型が6府県から8件、AH3亜型が5県から9件、B型が5道県から20件報告されている。

週別インフルエンザウイルス分離・検出報告数、2006/07シーズン

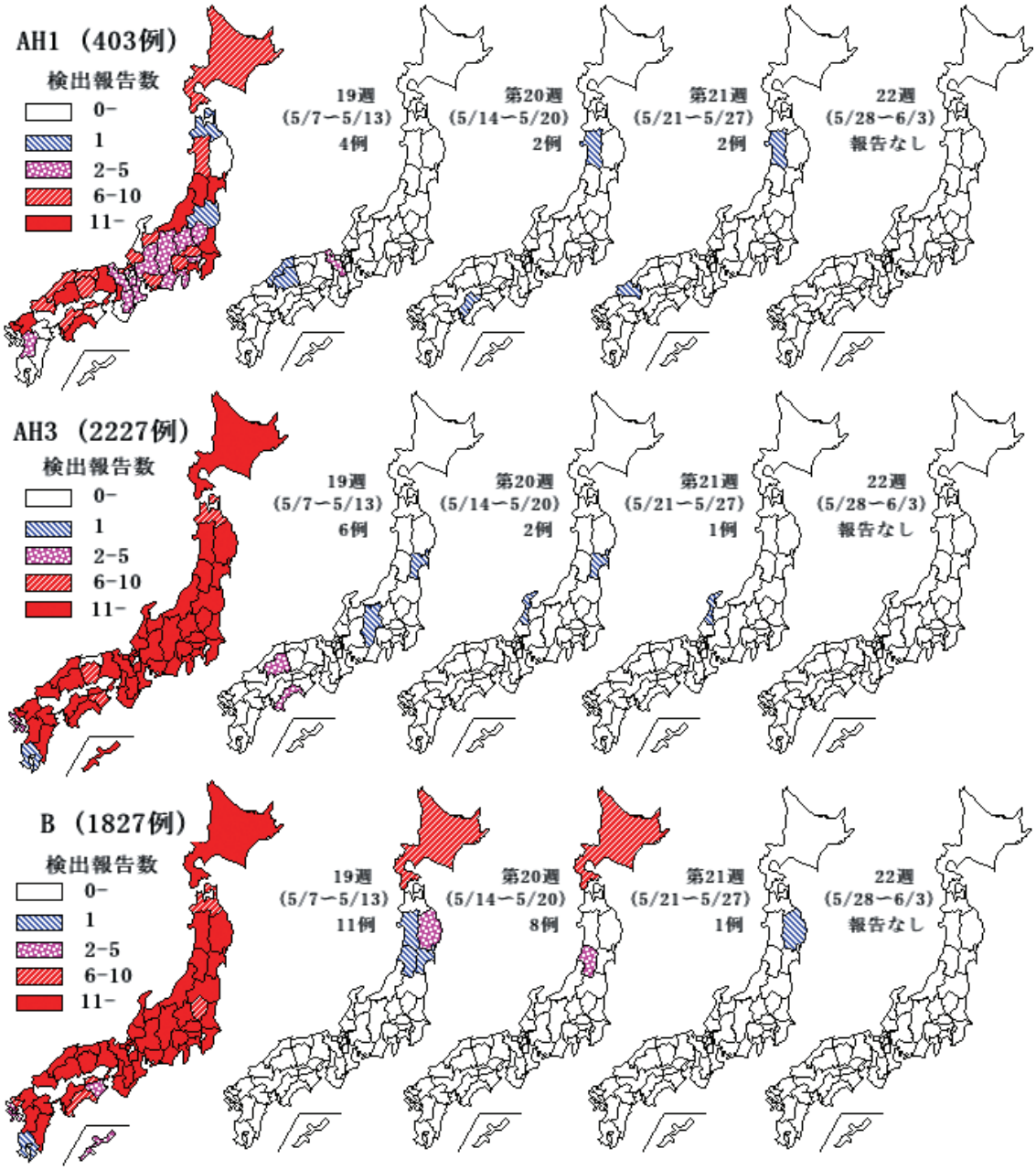
（病原微生物検出情報：2007年6月7日現在報告数）



＊ 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離／検出報告を図に示した

IASR
Infectious Agents Surveillance Report

都道府県別インフルエンザウイルス分離・検出報告状況、2006/07シーズン
（病原微生物検出情報：2007年6月7日現在報告数）



＊各都道府県市の地方衛生研究所からの分離／検出報告を図に示した

IASR
Infectious Agents Surveillance Report

速報

◆母子感染した新生児麻疹の１例

今回我々は、母親が出産直後に麻疹を発症し、児にも感染した症例を経験したので報告する。

母親は33歳。近畿地方在住だが、里帰り出産のため来仙していた。2007年4月16日に当院産科で帝王切開術にて女児を出産し、28日に母子ともに退院した。児に仮死、黄疸などを認めなかった。

退院後2～3日後に母親が発熱したため、5月1日に近医からバラシリンを処方され内服したが、咽頭痛と下痢を認め、5日から発疹が出現したため7日に当科受診し、麻疹の診断で当科入院した。母親は麻疹罹患歴がなく、ワクチン接種歴も不明であった。入院時の麻疹抗体価（Index）はIgG 8.9（正常2.0未満）、IgM 9.52（正常0.80未満）と、ともに陽性であった。ここで出産児にも感染の危険性があったため、同日夕に予防的に児に対してγ-グロブリンを1ml筋注した。

母親の皮疹は典型的な麻疹のそれで、顔面から始まり下肢へ移行し、色素沈着を残し消退した。また、9日から解熱し、大きな合併症も認めず12日退院した。

しかし、5月10日より女児に咳が出現し、11日夜より発疹が出現。12日、哺乳力低下と咳増強のため救急外来受診し、37℃台の発熱と全身の癒合する小紅斑およびKoplik斑をみとめたため、麻疹の診断で入院となった。入院時よりユナシン-SRと硫酸アミカシンRおよびラインクルトRの点滴静注に気管支拡張剤の吸入や去痰剤の内服を併用した。13日に哺乳力の低下と体温上昇を認めたが、15日には改善し、皮疹も色素沈着を残し消退した。その後、順調に経過し18日に退院した。女児の麻疹抗体価（Index）は入院時にIgG 2.0未満で陰性、IgM 11.1で陽性であったが、退院時にはIgG 40.5、IgM 9.68と、ともに陽性であった。

現在は、母児ともに日常生活に戻っている。

本例の児はγ-グロブリンの事前投与により重症化を防ぐことができたと考えられる。しかし、抗体産生能の弱い年齢であるため、今回の感染で免疫成立とは考えず、1歳以降の麻疹ワクチン接種が望ましい。また、母児ともに特に大きな合併症も生じずに急性期を脱しているが、本例を通してあらためてワクチンの重要性を再認識させられた。

本邦では、2007年4月頃より関東地方を中心に麻疹の集団発生を認めており、ゴールデンウィークを期に全国的にさらに勢いを増している。今回の集団発生では麻疹ワクチンを接種していない人や1回接種のみでブースター効果を受けていない10代後半～20代後半が中心となっている。また、近年の交通網の発達により、これらの世代の人々がゴールデンウィークに全国に移動してしまったことも集団発生が拡大してしまったことの一因ともいえる。

諸外国、こと先進国ではワクチンの徹底により麻疹はもはや過去のものとなりつつある中、いまだに流行を繰り返している本邦は、諸外国から「麻疹輸出国」と注目されている。

近年、本邦は先進国として開発途上国に麻疹を含む様々なワクチンを支援したり、公衆衛生の理念を高めることに貢献している。今回のような症例を教訓に、自国内でのワクチン接種の啓発活動にも積極的に取り組む時期に来ているのではないだろうか。

仙台赤十字病院皮膚科　石橋昌也　田畑伸子
仙台赤十字病院小児科　田中佳子

（IASR 2007年7月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照）

海外感染症情報

＊関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ（http://www.forth.go.jp/）をご覧下さい。

●インドネシアでの鳥インフルエンザ流行状況

WHO/EPR　2007年6月6日―更新9

インドネシア保健省は新たな鳥インフルエンザウイルスA/H5N1型感染患者1名を報告した。

Central Java州のKendal地区の16歳女性が5月21日に発症し、5月25日に入院、5月29日に病院で死亡した。女性の感染源に関する初期調査では、死んだ家禽からの曝露が示唆されている。

インドネシアでは、現在までに感染が確認された99名のうち79名が死亡している。

●エジプトでの鳥インフルエンザ流行状況

WHO/EPR　2007年6月11日―更新16

エジプト保健人口省は、新たな鳥インフルエンザウイルスA/H5N1型感染患者1名を発表した。患者はエジプト中央公衆衛生研究所および米国海軍医学研究所UnitNo.3（NAMRU-3）での検査により確認された。

患者は、Qena行政地区の10歳女児で、6月1日に発症し、6月6日に入院、6月9日に死亡した。女児の感染源に関する初期調査では、死んだ家禽からの曝露が示唆されている。

エジプトでは、現在までに感染が確認された35名の患者のうち15名が死亡している。

感染症の話

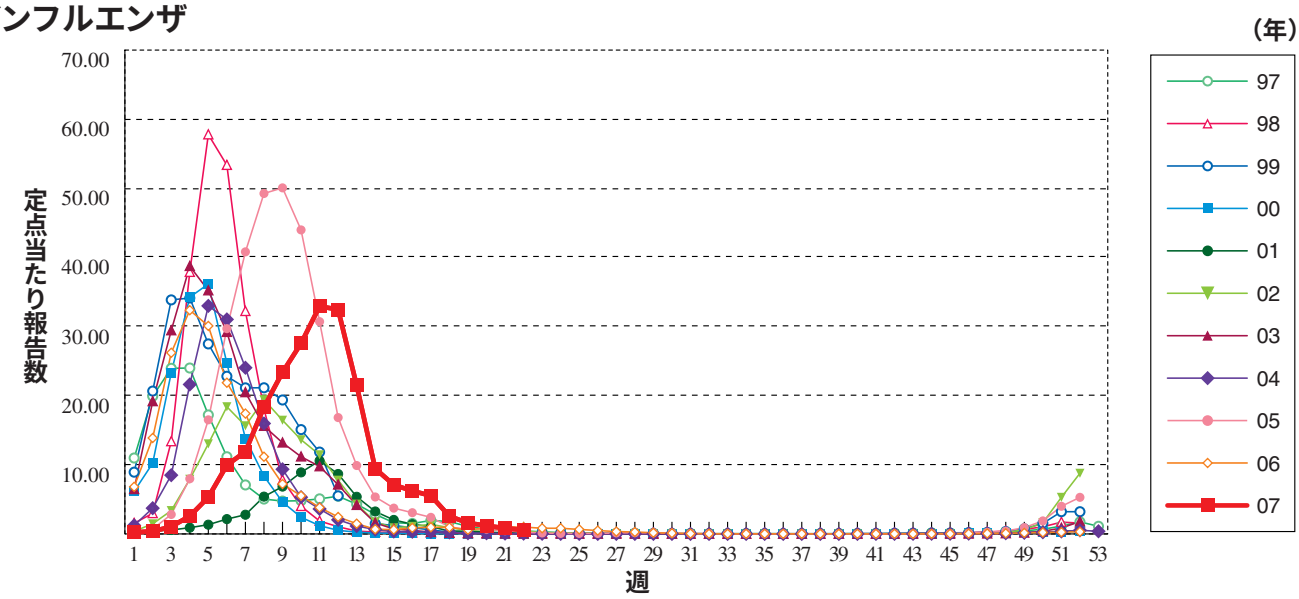
****

今週はお休みさせていただきます。
「感染症の話」過去の掲載分については
http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/index.html
でご覧いただけます。

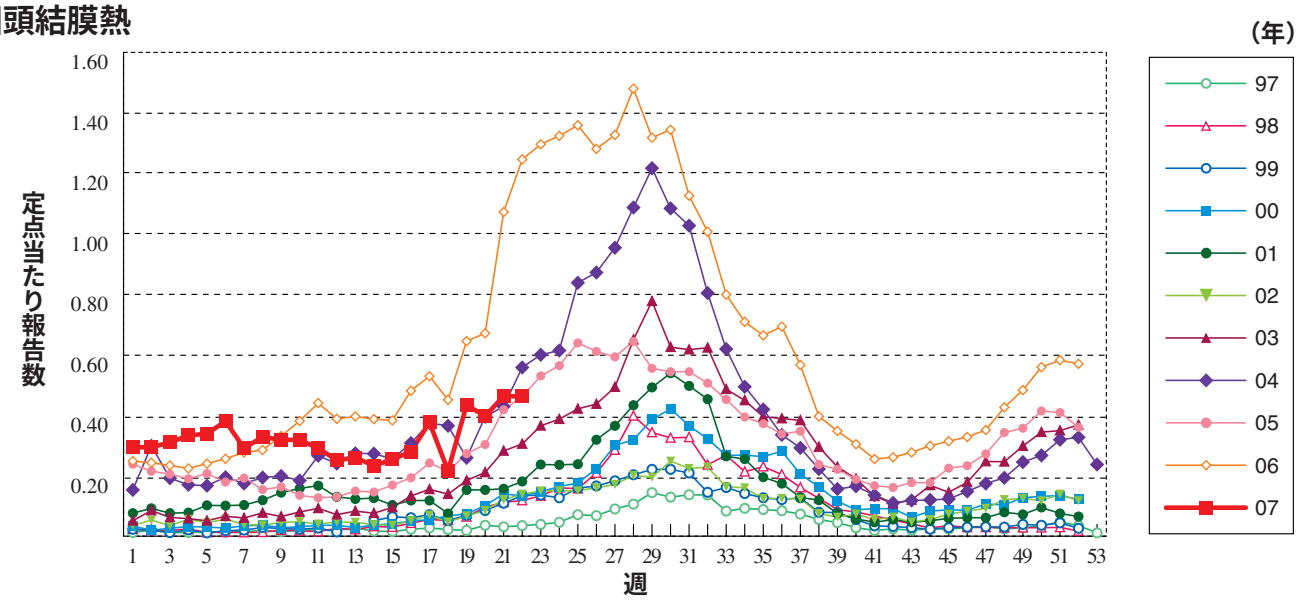
****

グラフ総覧(22週)

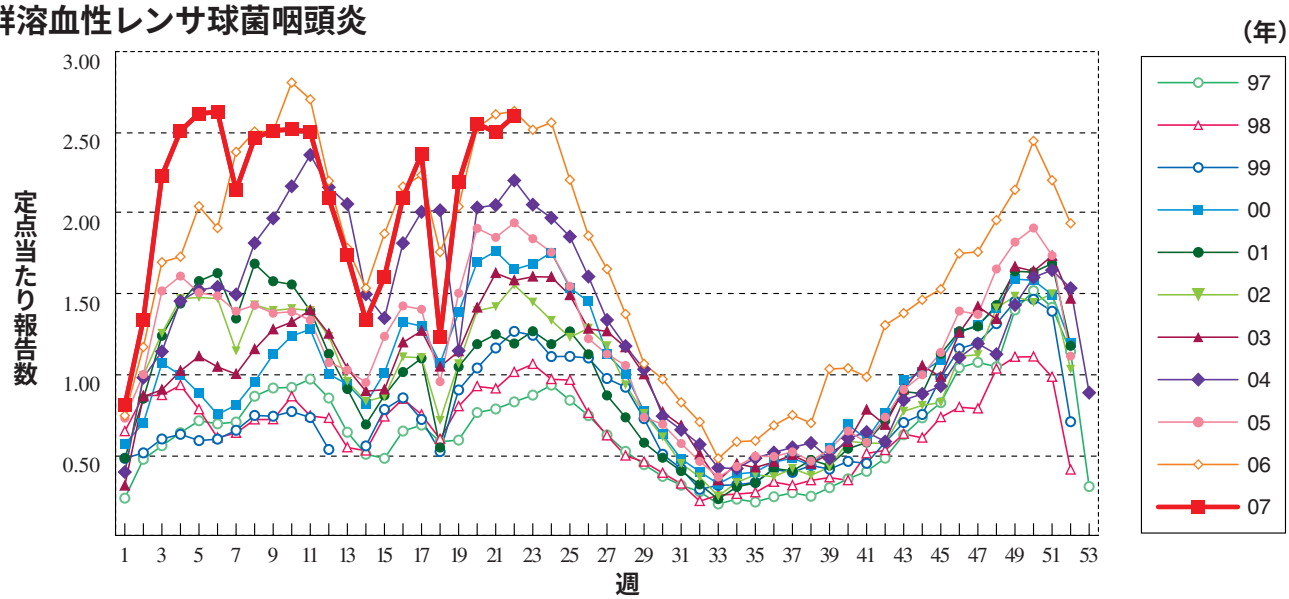
インフルエンザ



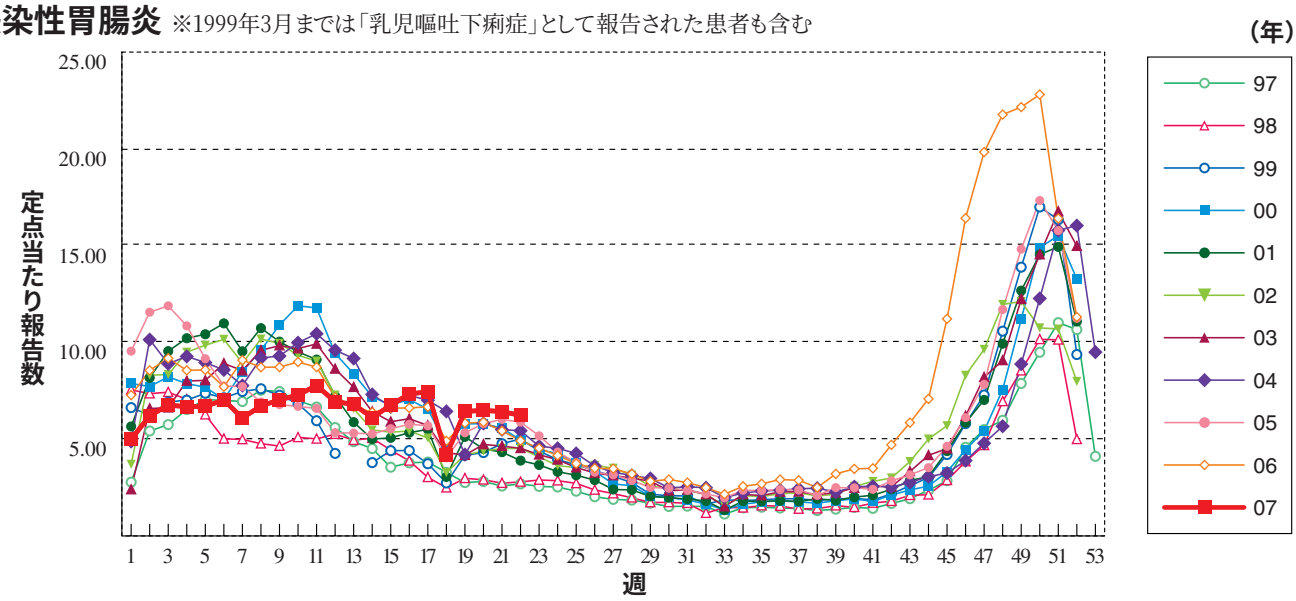
咽頭結膜熱



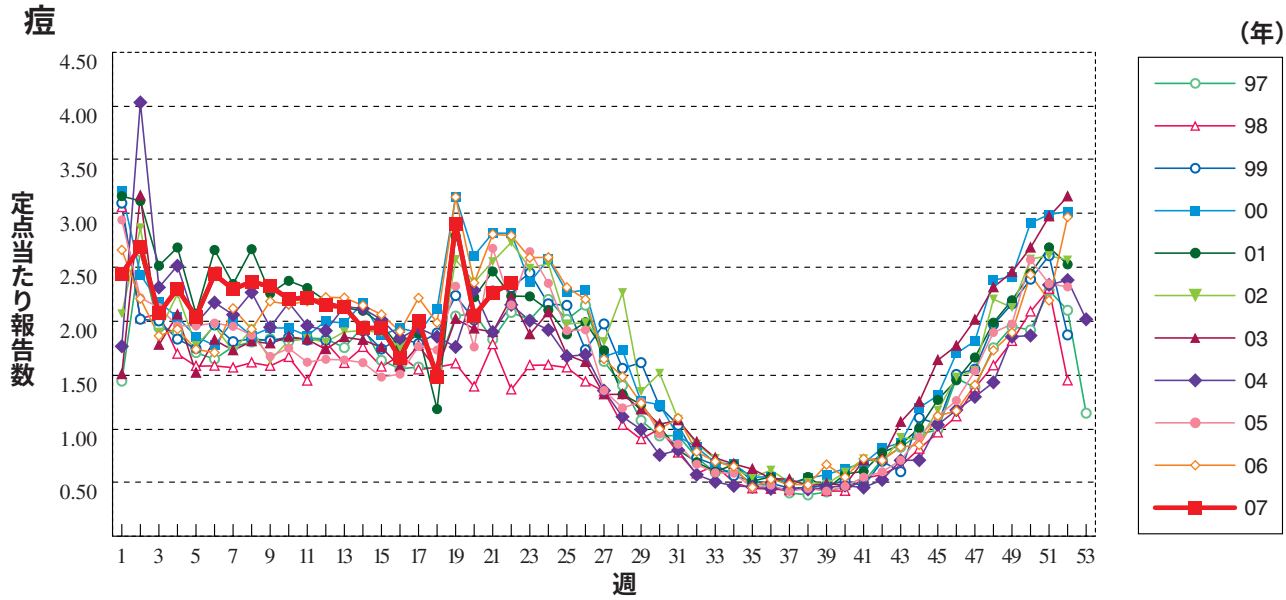
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



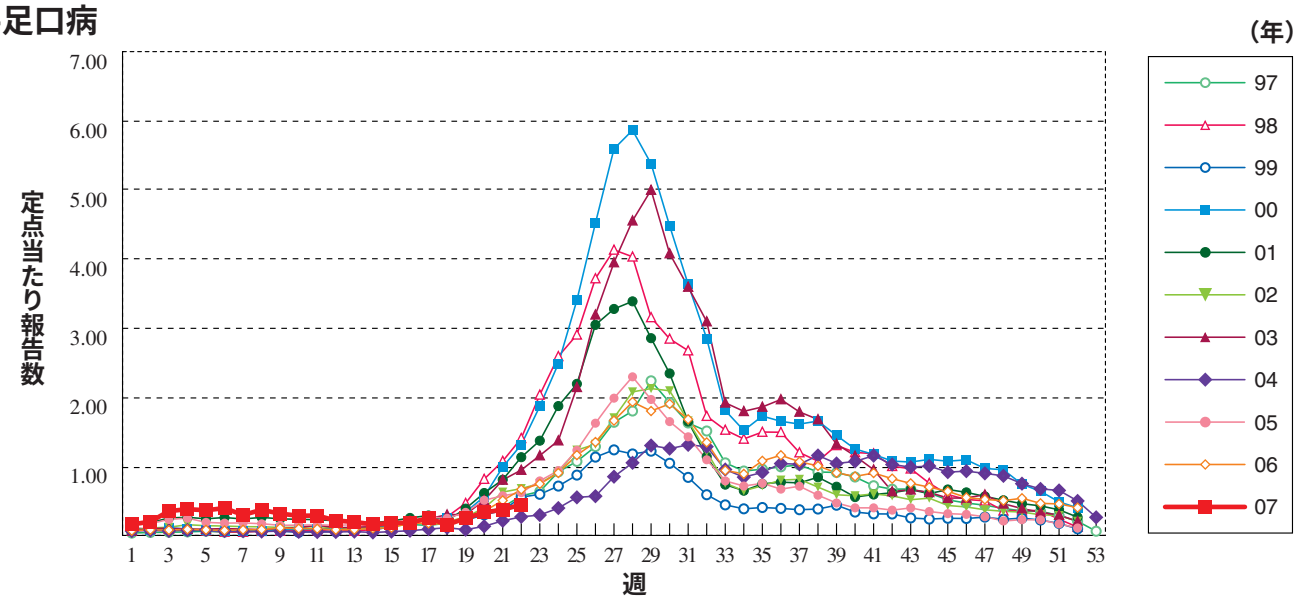
感染性胃腸炎 ※1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



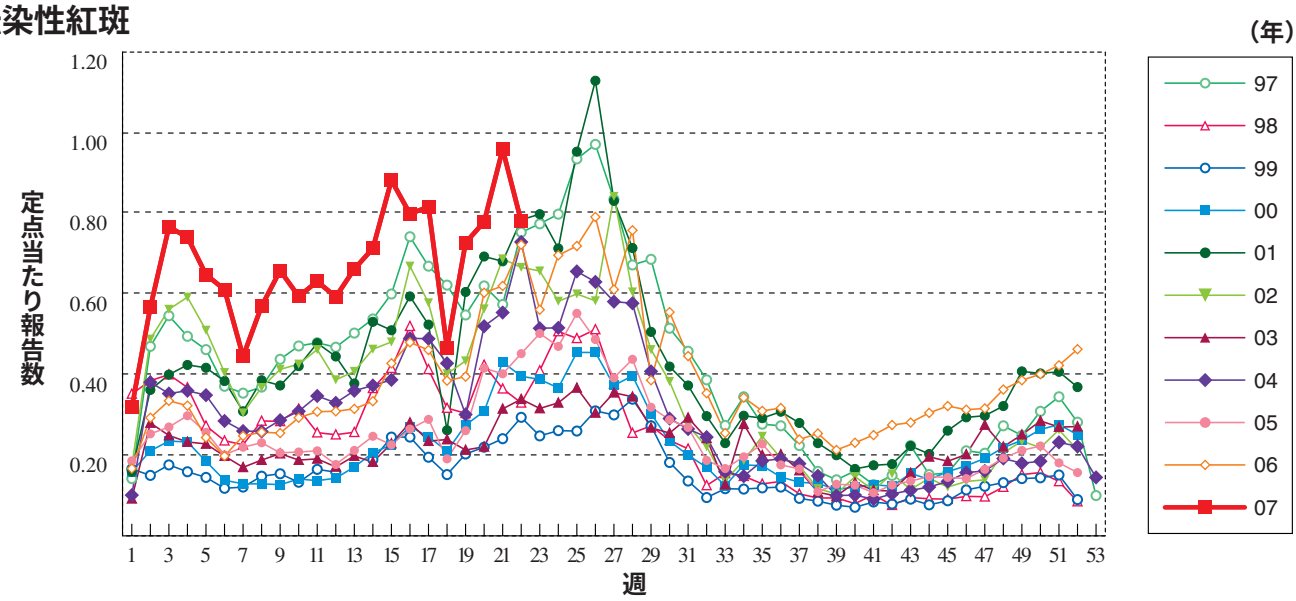
水　痘



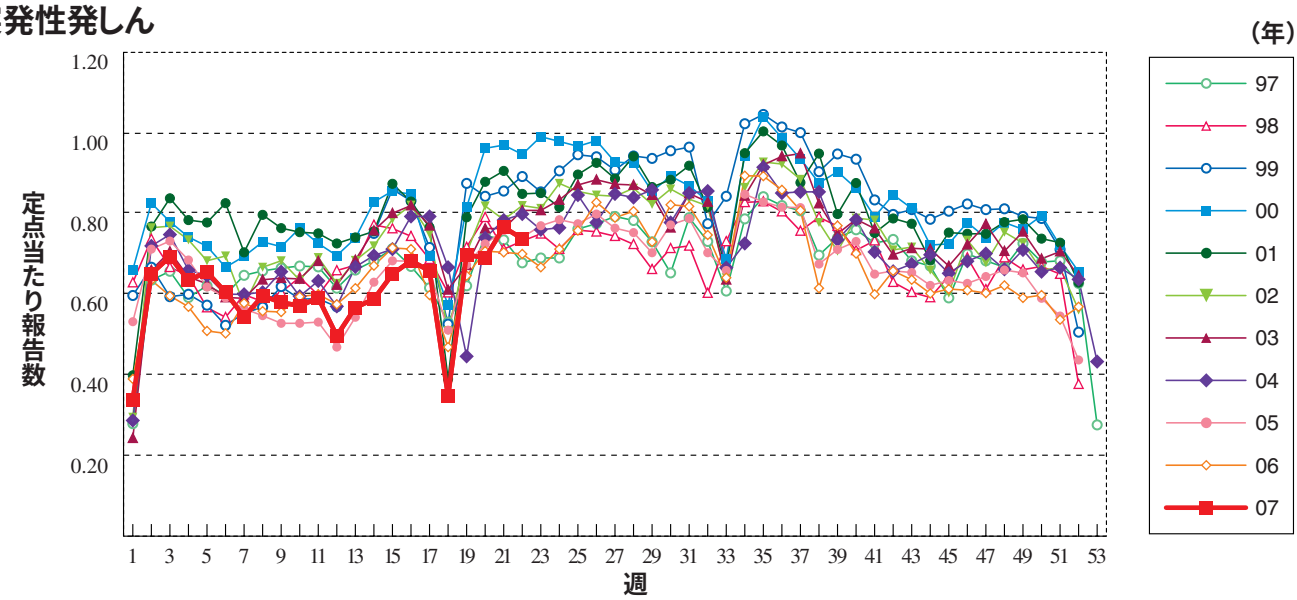
手足口病



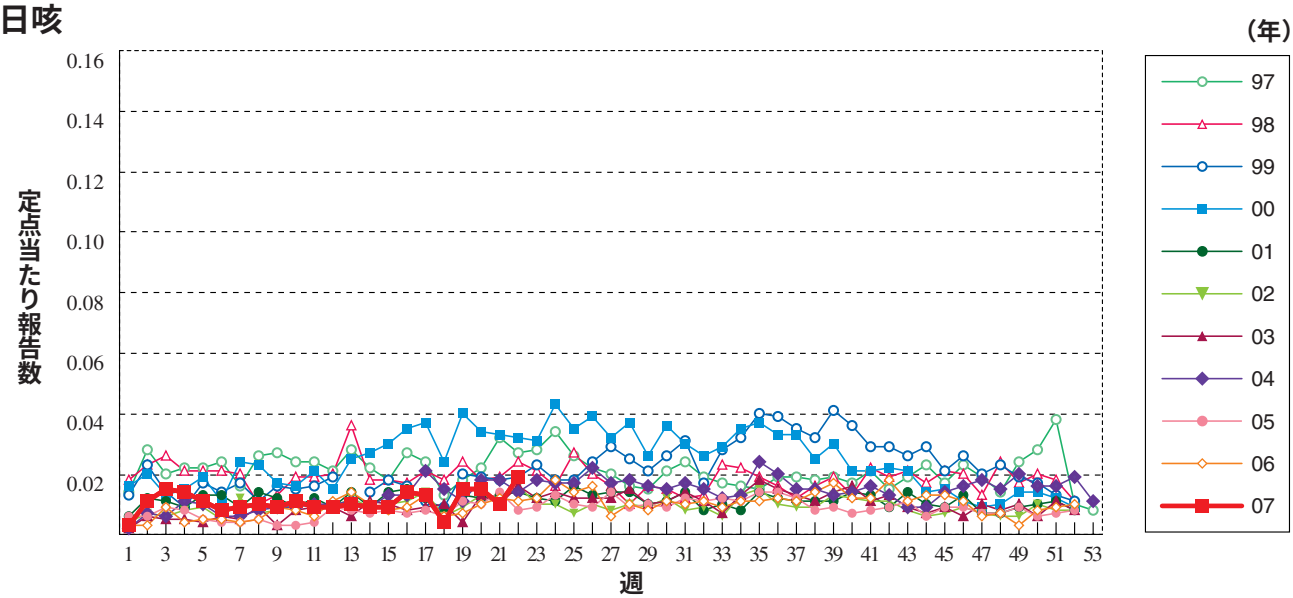
伝染性紅斑



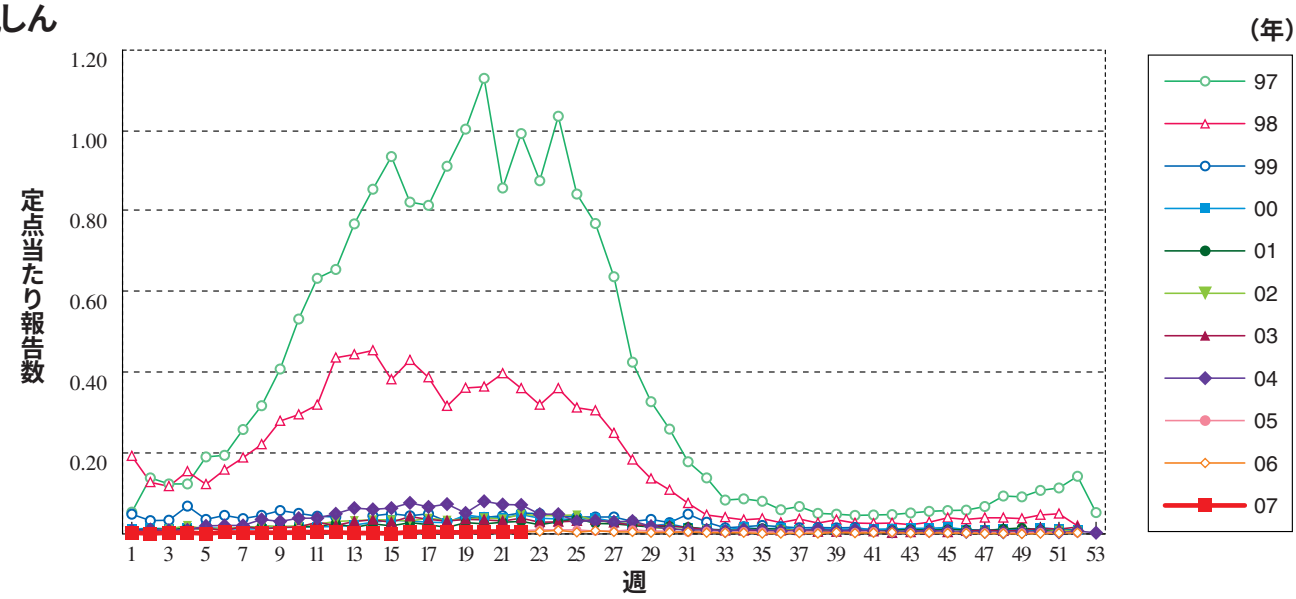
突発性発しん



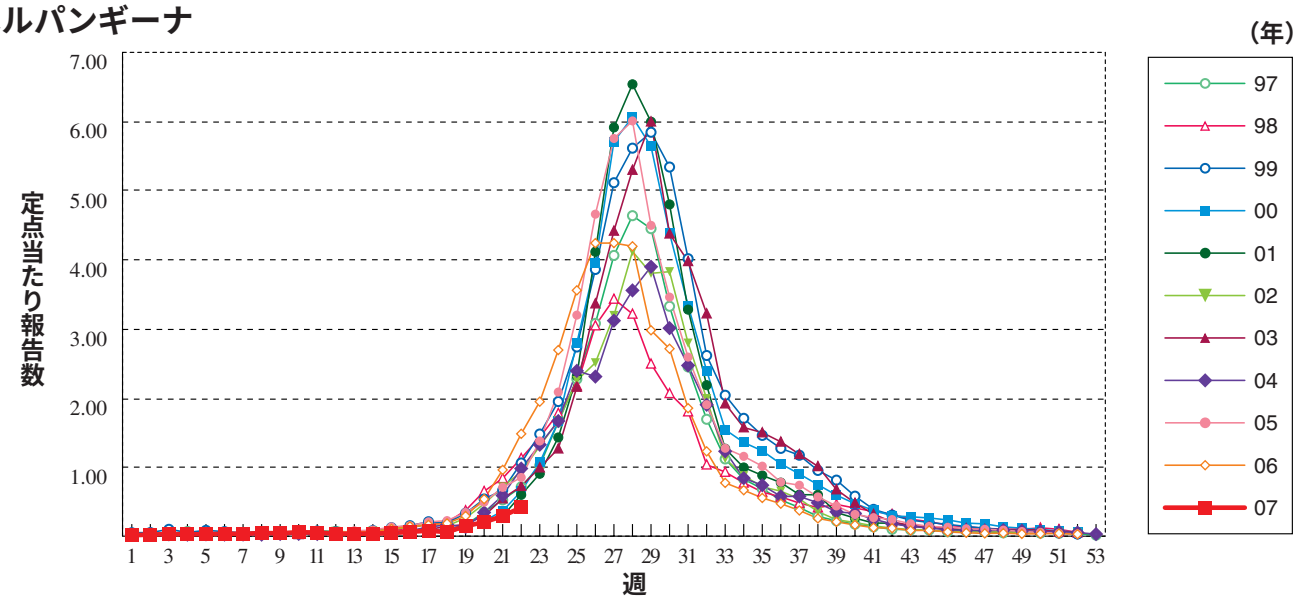
百日咳



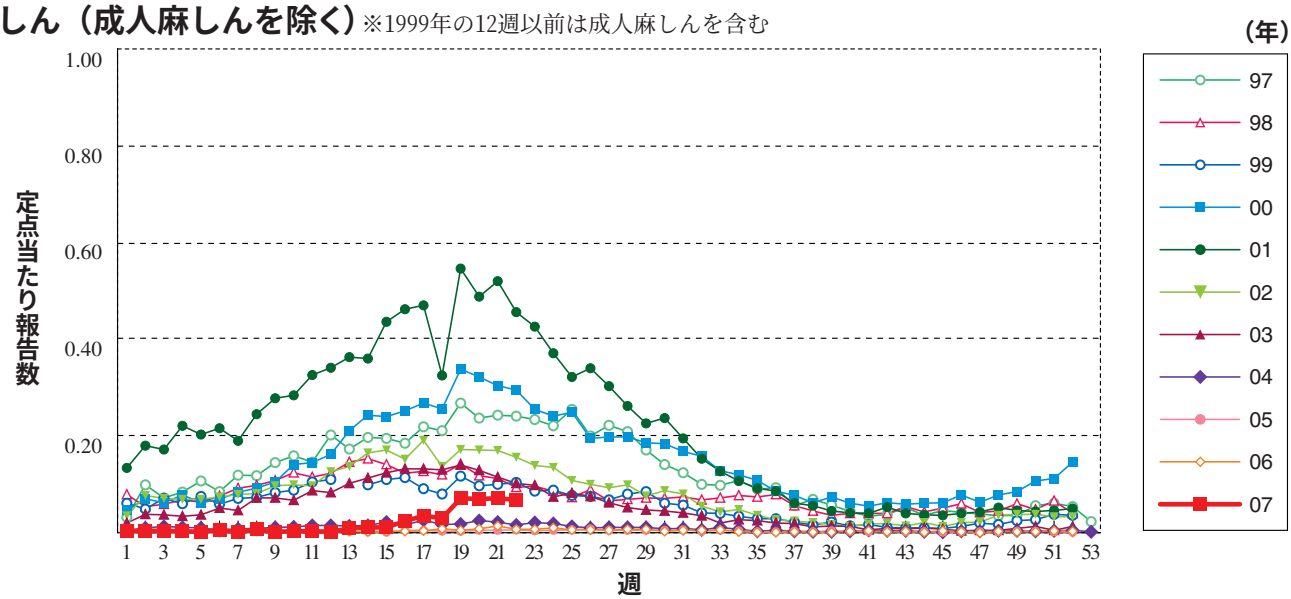
風しん



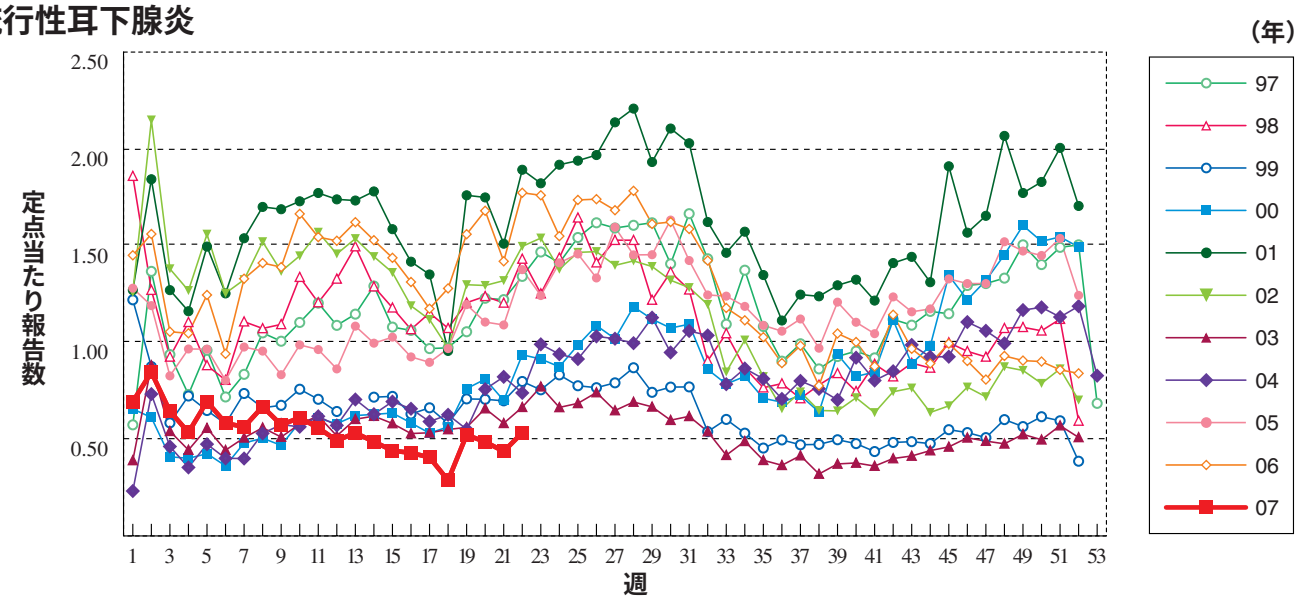
ヘルパンギーナ



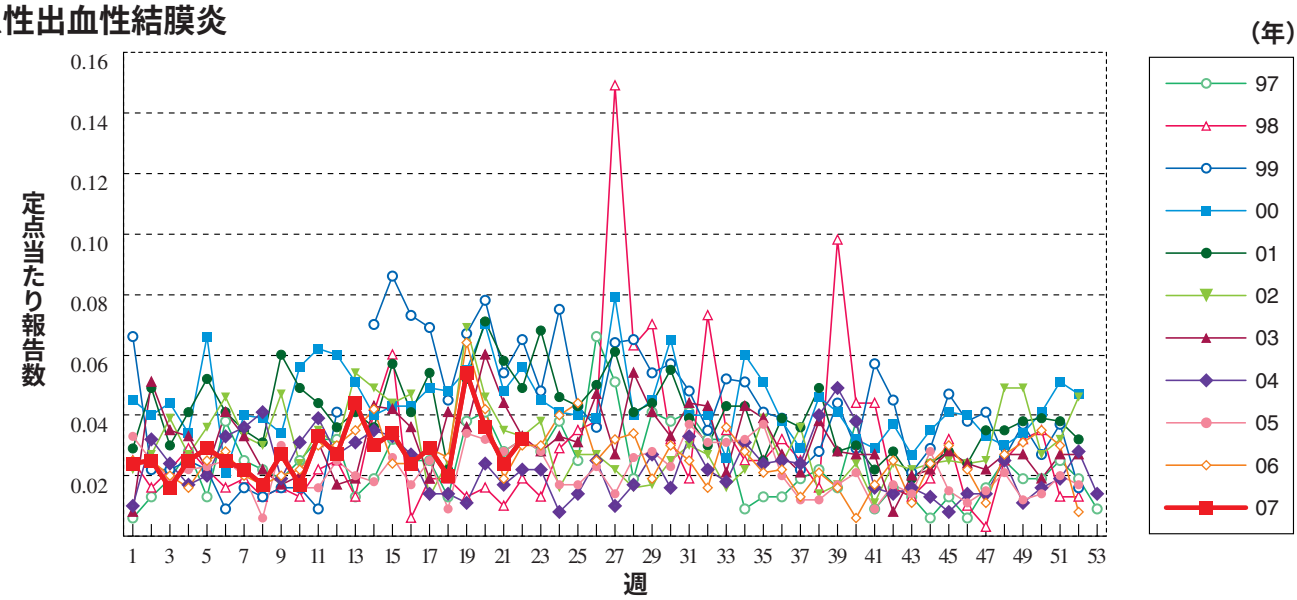
麻しん（成人麻しんを除く）※1999年の12週以前は成人麻しんを含む



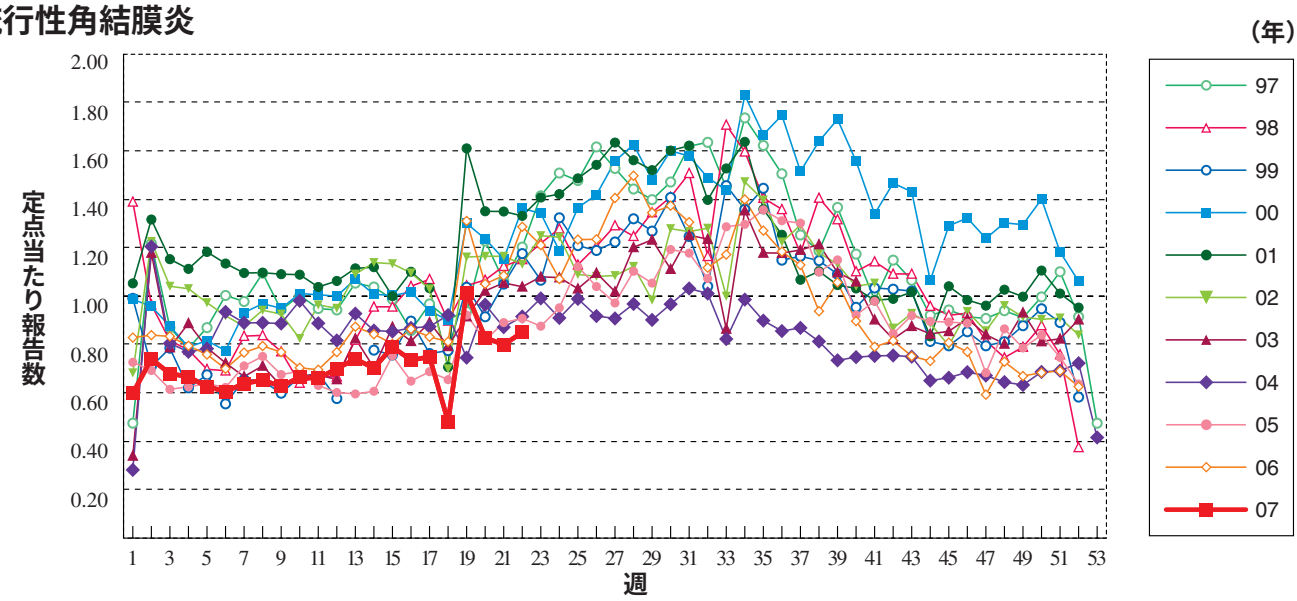
流行性耳下腺炎



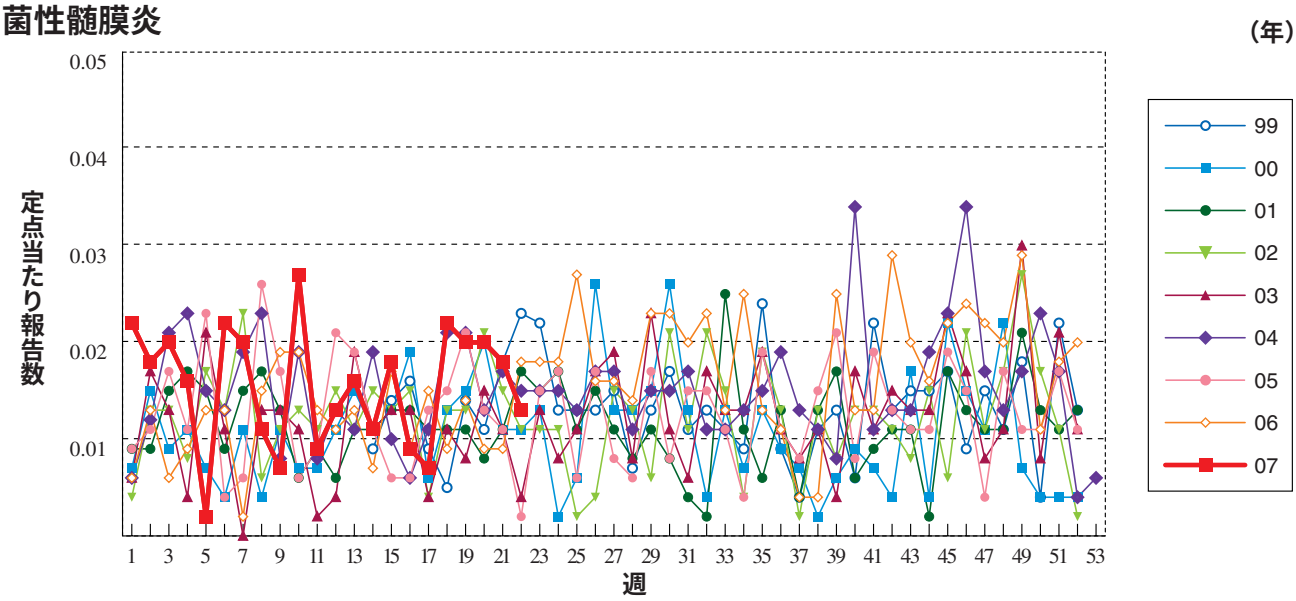
急性出血性結膜炎



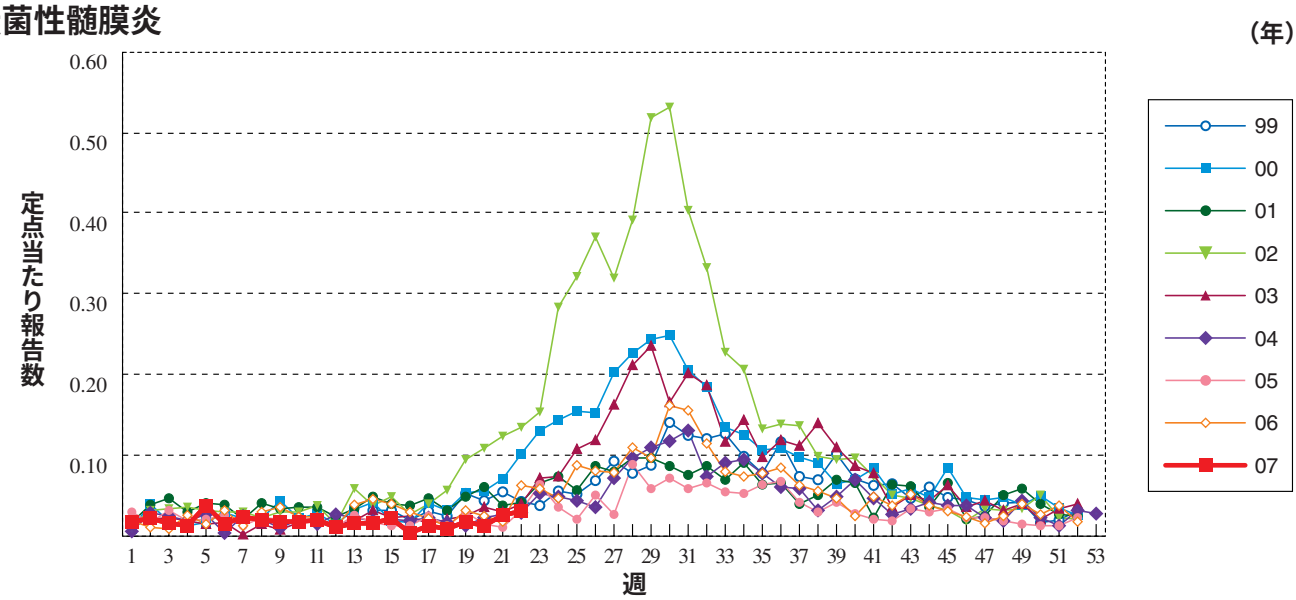
流行性角結膜炎



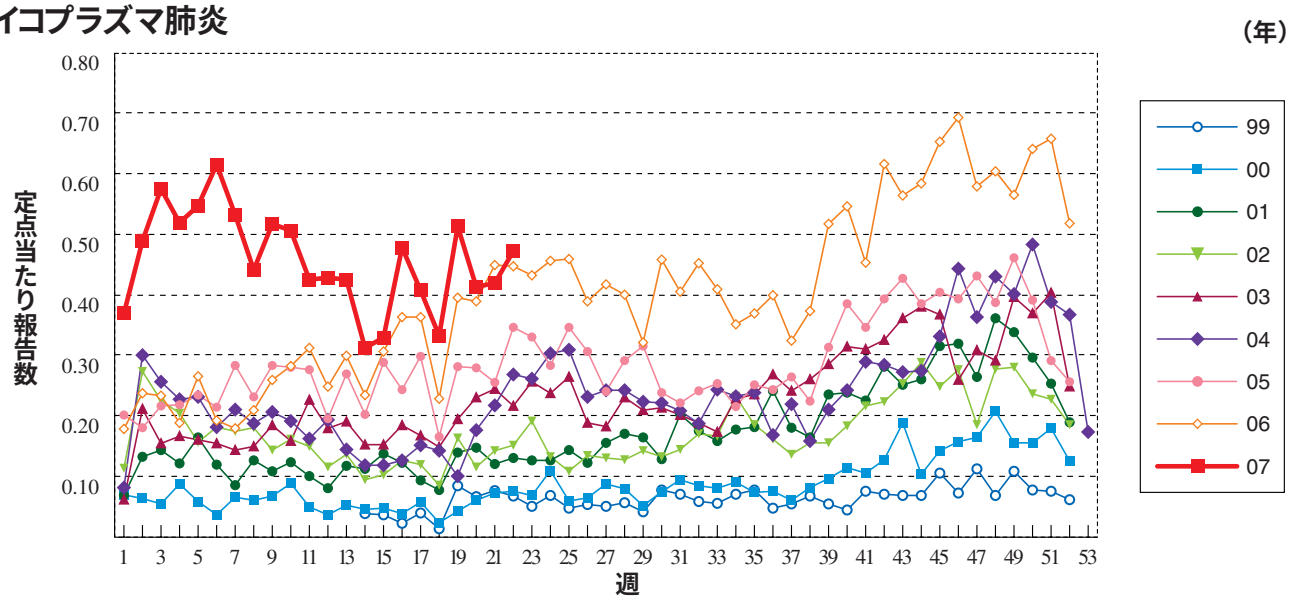
細菌性髄膜炎



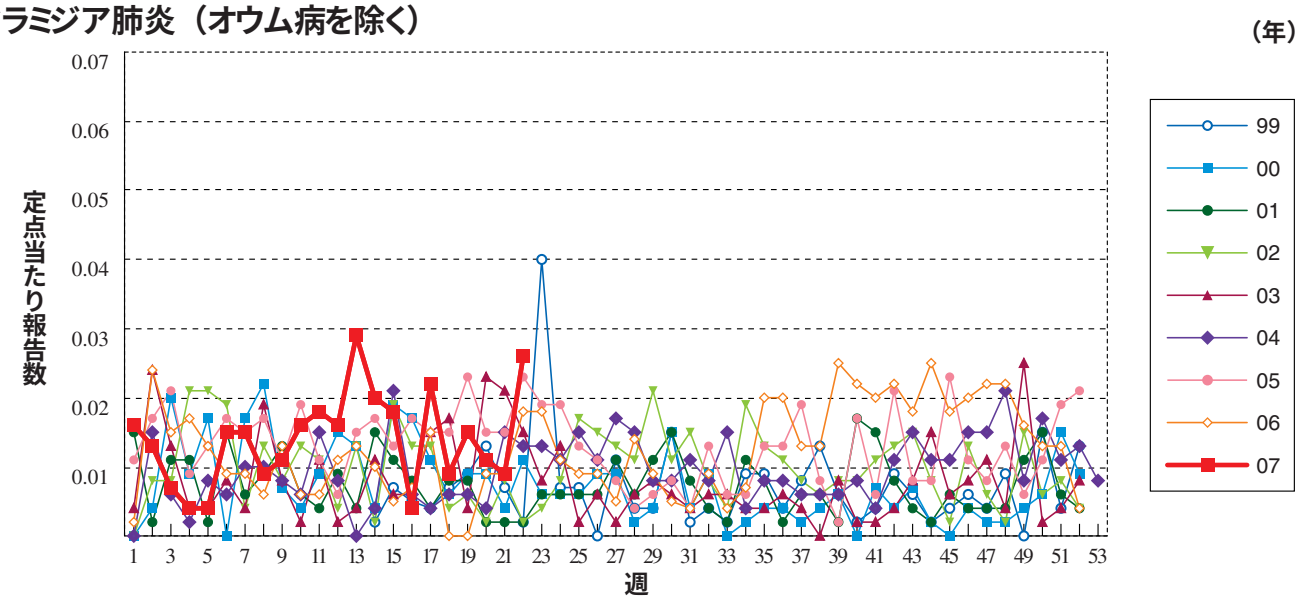
無菌性髄膜炎



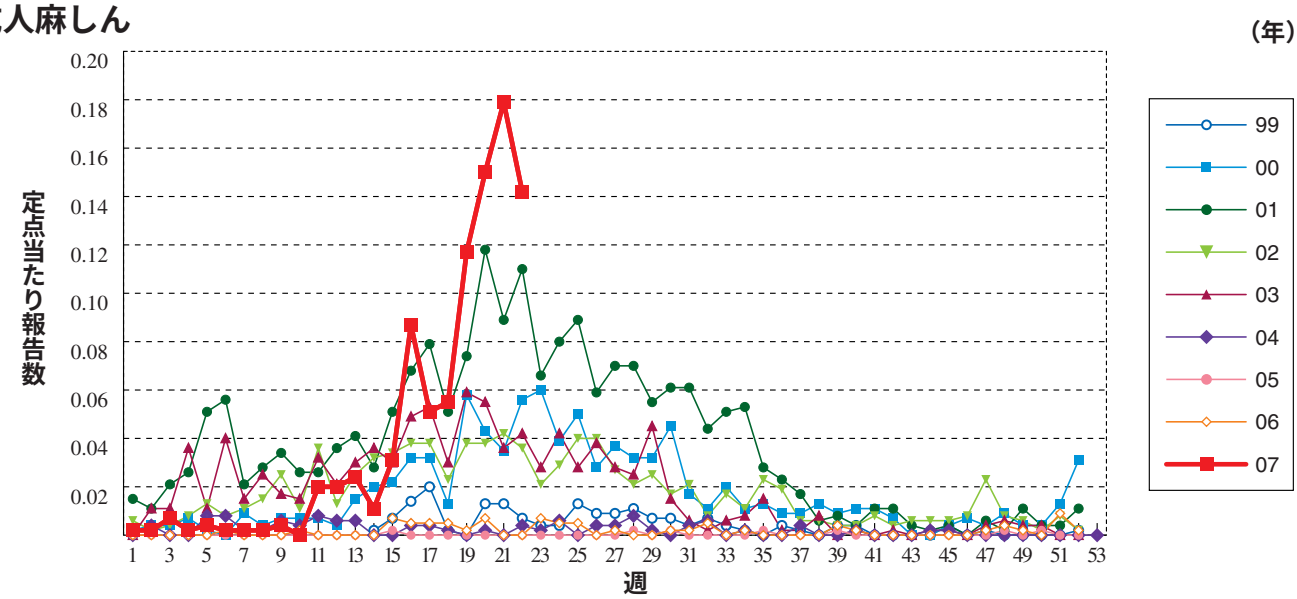
マイコプラズマ肺炎



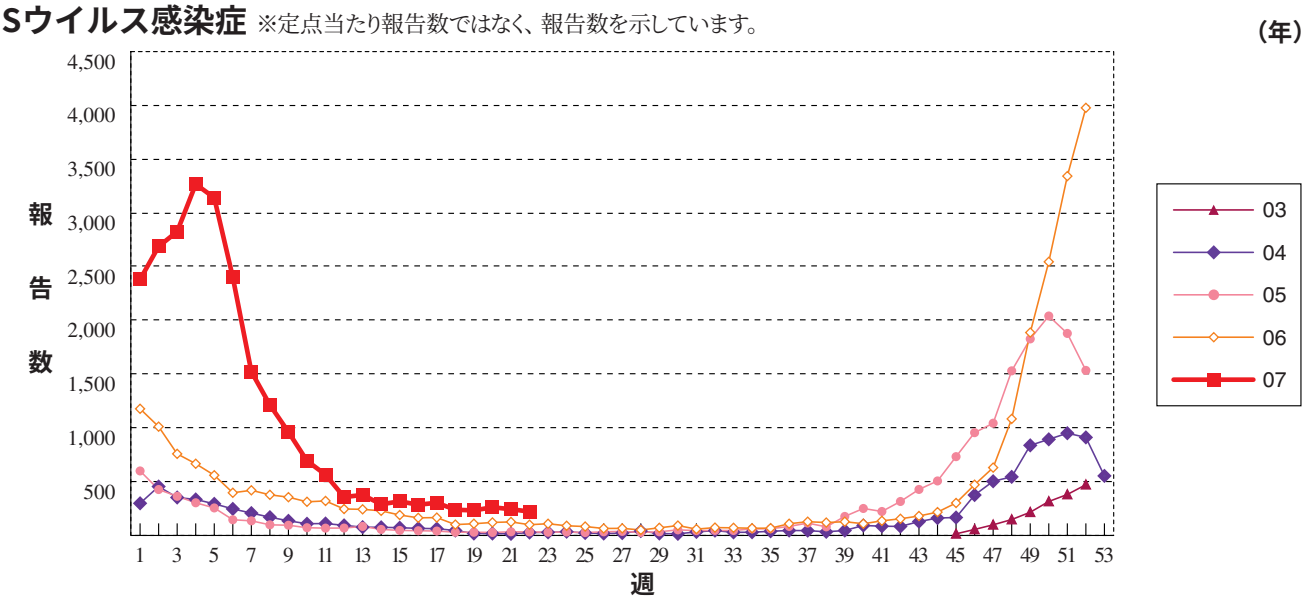
クラミジア肺炎（オウム病を除く）



成人麻しん



RSウイルス感染症 ※定点当たり報告数ではなく、報告数を示しています。



22週のデータ

注1）表中の報告数は6月6日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。
2007年4月からの法改正に伴い、疾病の追加および並び順を一部変更しました。

*累積は2007年4月1日以降の報告数である。

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別　　2007年22週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		痘そう		南米出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		急性灰白髄炎		結核*	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総　数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	254	2776
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	75
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	43
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	13
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	50
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	9
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	17
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	27
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	61
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	40
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	42
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	139
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	30	219
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	27	262
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	47
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	32
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	42
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	49
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	85
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	46
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18	253
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	78
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	43
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	102
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	37
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	103
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	38
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	11
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	17
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	96
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	40
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	38
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	57
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	31
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	24	223
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	30
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	46
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	34
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	29
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	42
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	62
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11

*病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る。

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別　2007年22週

	ジフテリア		重症急性呼吸器症候群*		コレラ		細菌性赤痢		腸管出血性大腸菌感染症		腸チフス		パラチフス		E型肝炎		ウエストナイル熱（ウエストナイル脳炎を含む）	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総　数	-	-	-	-	1	8	7	198	105	513	1	16	-	7	-	25	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	2	-	6	-	1	-	-	-	5	-	-
青森県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	7	-	1	-	-	-	2	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	1	2	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	2	-	1	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	3	2	6	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	1	1	4	-	-	-	-	-	1	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	16	-	-	-	-	-	1	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	2	-	15	7	13	-	1	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	1	1	29	7	29	-	-	-	1	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	1	2	3	32	51	73	1	4	-	2	-	1	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	6	2	10	-	-	-	1	-	1	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	32	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	1	2	15	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	1	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	9	1	5	-	-	-	-	-	3	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	15	-	15	-	-	-	-	-	6	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	1	-	-	-	3	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	4	1	12	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	1	1	44	4	31	-	3	-	1	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	1	-	3	1	15	-	2	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	1	1	10	-	-	-	1	-	2	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	6	1	25	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	3	2	7	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	1	2	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	2	2	47	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	1	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	14	18	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別 2007年22週

	A型肝炎		エキノコックス症		黄 熱		オウム病		オムスク出血熱		回帰熱		キャサヌル森林病		Q 熱		狂犬病	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	77	-	6	-	-	2	11	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
北海道	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	14	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	7	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	5	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	6	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
愛媛県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別 2007年22週

	コクシジオイデス症		サル痘		腎症候性出血熱		西部ウマ脳炎		ダニ媒介脳炎		炭疽		つつが虫病		デング熱		東部ウマ脳炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	70	-	22	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	9	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-
東京都	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	1	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別　2007年22週

	鳥インフルエンザ		ニパウイルス感染症		日本紅斑熱		日本脳炎		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		鼻疽		ブルセラ症		ベネズエラウマ脳炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総　数	-	-	-	-	3	7	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別 2007年22週

	ヘンドラウイルス感染症		発しんチフス		ボツリヌス症		マラリア		野兎病		ライム病		リッサウイルス感染症		リフトバレー熱		類鼻疽	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総　数	-	-	-	-	-	2	1	18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	1	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*E型肝炎およびA型肝炎を除く。
**ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎およびリフトバレー熱を除く。

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別 2007年22週

	レジオネラ症		レプトスピラ症		ロッキー山紅斑熱		アメーバ赤痢		ウイルス性肝炎*		急性脳炎**		クリプトスポリジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	11	165	-	3	-	-	7	305	-	70	3	101	-	3	2	67	-	45
北海道	-	12	-	-	-	-	-	6	-	4	-	2	-	-	-	2	-	5
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	1	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	1	4	-	-	-	-	-	15	-	2	-	2	-	-	-	-	-	1
秋田県	1	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
山形県	-	4	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2	-	-	-	-	-	1
福島県	-	2	-	-	-	-	-	4	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
茨城県	-	5	-	-	-	-	-	5	-	-	-	6	-	-	-	1	-	2
栃木県	-	-	-	-	-	-	1	4	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	1	3	-	1	-	1	-	-	-	3	-	-
埼玉県	-	6	-	-	-	-	-	11	-	-	1	6	-	-	-	1	-	2
千葉県	-	8	-	-	-	-	-	8	-	-	-	13	-	-	-	3	-	1
東京都	1	11	-	2	-	-	3	62	-	15	-	4	-	-	-	5	-	3
神奈川県	3	11	-	-	-	-	-	37	-	2	-	2	-	1	1	4	-	5
新潟県	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	4	-	1
富山県	-	5	-	-	-	-	-	2	-	2	-	1	-	-	-	1	-	1
石川県	-	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
福井県	-	1	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	3	-	-	-	-	-	4	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1
岐阜県	1	10	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
静岡県	-	12	-	-	-	-	-	12	-	1	-	1	-	-	-	1	-	-
愛知県	-	11	-	-	-	-	-	19	-	3	-	1	-	-	-	3	-	4
三重県	-	3	-	-	-	-	-	4	-	1	-	1	-	-	-	1	-	-
滋賀県	-	1	-	-	-	-	-	7	-	1	-	1	-	-	-	2	-	-
京都府	-	5	-	-	-	-	1	11	-	2	-	2	-	-	-	2	-	-
大阪府	-	10	-	-	-	-	-	28	-	6	-	13	-	-	-	3	-	3
兵庫県	-	4	-	-	-	-	-	19	-	6	-	4	-	-	-	3	-	2
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	2	-	-	-	-	-	3	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-
鳥取県	1	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2
岡山県	-	3	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-
広島県	2	5	-	-	-	-	-	3	-	3	-	1	-	-	1	3	-	2
山口県	-	2	-	-	-	-	-	3	-	-	1	5	-	-	-	2	-	-
徳島県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	3	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	3	-	-
福岡県	-	5	-	-	-	-	-	9	-	5	-	5	-	1	-	2	-	2
佐賀県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1
長崎県	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
熊本県	1	4	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
大分県	-	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	12	-	-	-	1	-	-
鹿児島県	-	2	-	-	-	-	-	2	-	-	1	4	-	-	-	1	-	2
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別 2007年22週

	後天性免疫不全症候群		ジアルジア症		髄膜炎菌性髄膜炎		先天性風しん症候群		梅毒		破傷風		バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		バンコマイシン耐性腸球菌感染症		インフルエンザ(H5N1)	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	9	541	-	17	-	10	-	-	10	229	3	30	-	-	1	31	-	-
北海道	-	7	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-	-	1	-	-
青森県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-
岩手県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	5	-	-	-	1	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	2	-	-	-	1	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-
福島県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	2	-	-
茨城県	-	6	-	-	-	-	-	-	-	8	-	1	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	9	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	10	-	-	-	1	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	10	-	-	-	-	-	-	2	9	-	1	-	-	-	1	-	-
千葉県	-	18	-	-	-	1	-	-	-	7	-	2	-	-	-	-	-	-
東京都	5	188	-	7	-	1	-	-	3	49	-	-	-	-	-	7	-	-
神奈川県	-	40	-	5	-	-	-	-	-	11	-	1	-	-	1	8	-	-
新潟県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
長野県	-	7	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	1	-	-
岐阜県	-	5	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	2	-	-
静岡県	-	17	-	-	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-	-	1	-	-
愛知県	3	59	-	-	-	1	-	-	2	23	-	-	-	-	-	2	-	-
三重県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	10	-	1	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	60	-	3	-	-	-	-	-	9	-	1	-	-	-	1	-	-
兵庫県	-	6	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	2	-	-
奈良県	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	3	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	1	7	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	2	-	-	-	-	-	-	1	5	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	10	-	-	-	-	-	-	-	14	-	-	-	-	-	1	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	4	2	4	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	4	-	-	-	-	-	-	1	15	-	3	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	1	-	-	-	1	-	-	-	5	-	2	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	11	-	-	-	1	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-

*高病原性鳥インフルエンザを除く。

報告数・定点当り報告数，疾病・都道府県別 2007年22週

	インフルエンザ*		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水 痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百 日 咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	2663	0.57	1392	0.46	7841	2.60	18778	6.23	7101	2.35	1349	0.45	2353	0.78	2225	0.74	56	0.02
北海道	399	1.76	59	0.42	489	3.44	513	3.61	325	2.29	9	0.06	253	1.78	66	0.46	-	-
青森県	97	1.49	36	0.86	95	2.26	120	2.86	59	1.40	-	-	18	0.43	21	0.50	-	-
岩手県	159	2.56	6	0.16	55	1.45	141	3.71	76	2.00	18	0.47	70	1.84	16	0.42	-	-
宮城県	206	2.15	30	0.50	119	1.98	475	7.92	112	1.87	2	0.03	99	1.65	55	0.92	1	0.02
秋田県	162	2.95	9	0.26	95	2.71	150	4.29	53	1.51	6	0.17	36	1.03	17	0.49	-	-
山形県	45	0.94	23	0.77	93	3.10	219	7.30	69	2.30	29	0.97	35	1.17	24	0.80	1	0.03
福島県	36	0.45	21	0.44	124	2.58	342	7.13	127	2.65	59	1.23	28	0.58	42	0.88	2	0.04
茨城県	14	0.12	34	0.45	264	3.52	298	3.97	135	1.80	50	0.67	23	0.31	36	0.48	1	0.01
栃木県	6	0.08	4	0.09	176	3.74	118	2.51	73	1.55	33	0.70	56	1.19	45	0.96	4	0.09
群馬県	10	0.10	25	0.41	268	4.39	340	5.57	118	1.93	14	0.23	80	1.31	52	0.85	1	0.02
埼玉県	3	0.01	97	0.61	664	4.20	1349	8.54	487	3.08	46	0.29	95	0.60	147	0.93	2	0.01
千葉県	6	0.03	40	0.31	342	2.69	760	5.98	303	2.39	50	0.39	122	0.96	81	0.64	10	0.08
東京都	10	0.04	121	0.81	399	2.68	952	6.39	261	1.75	44	0.30	74	0.50	120	0.81	1	0.01
神奈川県	6	0.02	61	0.31	530	2.69	1287	6.53	457	2.32	29	0.15	121	0.61	184	0.93	3	0.02
新潟県	31	0.32	52	0.85	200	3.28	423	6.93	183	3.00	9	0.15	123	2.02	36	0.59	1	0.02
富山県	11	0.23	43	1.48	159	5.48	156	5.38	93	3.21	15	0.52	65	2.24	15	0.52	-	-
石川県	20	0.42	29	1.00	76	2.62	216	7.45	42	1.45	1	0.03	54	1.86	18	0.62	-	-
福井県	4	0.13	13	0.59	66	3.00	212	9.64	98	4.45	9	0.41	38	1.73	15	0.68	-	-
山梨県	1	0.03	5	0.21	59	2.46	56	2.33	15	0.63	7	0.29	12	0.50	8	0.33	-	-
長野県	16	0.18	18	0.33	133	2.42	453	8.24	160	2.91	17	0.31	133	2.42	28	0.51	1	0.02
岐阜県	7	0.08	14	0.26	36	0.68	215	4.06	109	2.06	4	0.08	32	0.60	25	0.47	-	-
静岡県	46	0.37	16	0.19	276	3.21	562	6.53	220	2.56	19	0.22	75	0.87	72	0.84	-	-
愛知県	40	0.21	59	0.33	407	2.25	1309	7.23	459	2.54	40	0.22	98	0.54	158	0.87	1	0.01
三重県	34	0.47	28	0.62	184	4.09	432	9.60	142	3.16	5	0.11	45	1.00	44	0.98	-	-
滋賀県	3	0.06	25	0.78	57	1.78	327	10.22	98	3.06	5	0.16	31	0.97	21	0.66	2	0.06
京都府	59	0.48	11	0.15	110	1.47	449	5.99	116	1.55	13	0.17	23	0.31	34	0.45	4	0.05
大阪府	39	0.16	71	0.37	440	2.32	1432	7.54	585	3.08	66	0.35	135	0.71	157	0.83	8	0.04
兵庫県	61	0.31	51	0.40	239	1.85	997	7.73	385	2.98	28	0.22	54	0.42	70	0.54	-	-
奈良県	11	0.24	16	0.46	33	0.94	194	5.54	66	1.89	3	0.09	44	1.26	14	0.40	-	-
和歌山県	14	0.28	8	0.26	51	1.65	166	5.35	66	2.13	24	0.77	20	0.65	28	0.90	-	-
鳥取県	19	0.66	12	0.63	68	3.58	213	11.21	46	2.42	5	0.26	8	0.42	10	0.53	-	-
島根県	8	0.21	26	1.13	60	2.61	154	6.70	28	1.22	17	0.74	3	0.13	21	0.91	-	-
岡山県	17	0.22	14	0.26	88	1.63	285	5.28	120	2.22	2	0.04	12	0.22	18	0.33	1	0.02
広島県	31	0.27	66	0.92	197	2.74	428	5.94	157	2.18	27	0.38	8	0.11	47	0.65	3	0.04
山口県	27	0.39	36	0.73	144	2.94	272	5.55	121	2.47	24	0.49	32	0.65	34	0.69	1	0.02
徳島県	21	0.54	6	0.30	33	1.65	104	5.20	70	3.50	5	0.25	14	0.70	12	0.60	-	-
香川県	35	0.73	12	0.41	34	1.17	169	5.83	35	1.21	1	0.03	17	0.59	24	0.83	1	0.03
愛媛県	53	0.87	11	0.30	84	2.27	263	7.11	87	2.35	4	0.11	42	1.14	27	0.73	-	-
高知県	42	0.88	12	0.40	50	1.67	263	8.77	58	1.93	1	0.03	42	1.40	17	0.57	1	0.03
福岡県	39	0.20	55	0.46	215	1.79	472	3.93	283	2.36	113	0.94	29	0.24	102	0.85	1	0.01
佐賀県	2	0.05	14	0.61	38	1.65	60	2.61	80	3.48	48	2.09	7	0.30	24	1.04	-	-
長崎県	32	0.46	21	0.48	40	0.91	210	4.77	100	2.27	83	1.89	4	0.09	32	0.73	-	-
熊本県	97	1.21	22	0.46	129	2.69	225	4.69	63	1.31	193	4.02	8	0.17	53	1.10	4	0.08
大分県	9	0.16	15	0.42	91	2.53	400	11.11	72	2.00	26	0.72	12	0.33	55	1.53	-	-
宮崎県	75	1.27	13	0.36	117	3.25	294	8.17	101	2.81	55	1.53	10	0.28	36	1.00	-	-
鹿児島県	143	1.54	28	0.50	179	3.20	258	4.61	118	2.11	84	1.50	9	0.16	41	0.73	1	0.02
沖縄県	457	7.88	4	0.12	35	1.03	45	1.32	70	2.06	7	0.21	4	0.12	23	0.68	-	-

*髄膜炎菌性髄膜炎は除く。

報告数・定点当り報告数，疾病・都道府県別 2007年22週

	風しん		ヘルパンギーナ		麻しん(成人麻しんを除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎*		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総　数	17	0.01	1252	0.42	204	0.07	1609	0.53	21	0.03	564	0.85	6	0.01	14	0.03	217	0.47
北海道	-	-	6	0.04	17	0.12	46	0.32	1	0.04	16	0.57	-	-	-	-	12	0.52
青森県	-	-	9	0.21	-	-	45	1.07	-	-	7	0.64	-	-	-	-	7	1.17
岩手県	-	-	32	0.84	-	-	26	0.68	-	-	13	1.08	-	-	-	-	6	0.30
宮城県	-	-	2	0.03	1	0.02	66	1.10	-	-	5	0.42	-	-	-	-	9	0.75
秋田県	-	-	5	0.14	-	-	52	1.49	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	1	0.03	3	0.10	-	-	-	-	-	-	1	0.10	15	1.50
福島県	-	-	11	0.23	2	0.04	23	0.48	-	-	19	1.58	-	-	-	-	18	2.57
茨城県	-	-	2	0.03	1	0.01	26	0.35	-	-	35	2.06	-	-	-	-	11	0.85
栃木県	1	0.02	4	0.09	2	0.04	27	0.57	-	-	20	1.67	-	-	-	-	2	0.33
群馬県	-	-	7	0.11	1	0.02	46	0.75	-	-	23	1.64	-	-	-	-	10	1.25
埼玉県	-	-	29	0.18	27	0.17	53	0.34	1	0.02	35	0.83	-	-	-	-	6	0.67
千葉県	3	0.02	6	0.05	44	0.35	56	0.44	1	0.03	33	1.03	-	-	-	-	2	0.25
東京都	-	-	35	0.23	22	0.15	44	0.30	3	0.08	23	0.59	-	-	-	-	8	0.35
神奈川県	1	0.01	42	0.21	29	0.15	64	0.32	-	-	77	1.97	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	2	0.03	2	0.03	100	1.64	2	0.20	15	1.50	-	-	-	-	9	0.75
富山県	-	-	9	0.31	-	-	29	1.00	1	0.14	3	0.43	-	-	-	-	9	1.80
石川県	-	-	6	0.21	-	-	6	0.21	-	-	2	0.29	-	-	-	-	2	0.40
福井県	-	-	27	1.23	2	0.09	3	0.14	-	-	4	1.33	1	0.17	1	0.17	2	0.33
山梨県	-	-	-	-	4	0.17	3	0.13	-	-	15	1.67	-	-	-	-	3	0.30
長野県	-	-	43	0.78	1	0.02	19	0.35	-	-	3	0.27	-	-	-	-	10	0.91
岐阜県	-	-	12	0.23	-	-	19	0.36	1	0.09	4	0.36	-	-	3	0.60	6	1.20
静岡県	-	-	27	0.31	2	0.02	43	0.50	-	-	7	0.35	1	0.11	-	-	11	1.22
愛知県	-	-	71	0.39	6	0.03	78	0.43	1	0.03	15	0.45	2	0.13	-	-	8	0.53
三重県	1	0.02	13	0.29	1	0.02	57	1.27	-	-	3	0.25	-	-	-	-	5	0.56
滋賀県	-	-	8	0.25	-	-	15	0.47	-	-	2	0.29	-	-	-	-	-	-
京都府	1	0.01	13	0.17	-	-	33	0.44	-	-	8	0.44	-	-	-	-	-	-
大阪府	4	0.02	49	0.26	8	0.04	123	0.65	1	0.02	12	0.27	-	-	2	0.14	6	0.43
兵庫県	-	-	39	0.30	-	-	107	0.83	-	-	18	0.51	-	-	-	-	1	0.09
奈良県	1	0.03	8	0.23	-	-	9	0.26	-	-	3	0.33	-	-	-	-	-	-
和歌山県	1	0.03	2	0.06	1	0.03	22	0.71	-	-	2	0.50	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	8	0.42	-	-	10	0.53	-	-	1	0.33	-	-	-	-	1	0.20
島根県	-	-	48	2.09	1	0.04	6	0.26	-	-	1	0.33	-	-	-	-	1	0.13
岡山県	-	-	10	0.19	5	0.09	27	0.50	-	-	15	1.25	-	-	-	-	3	0.60
広島県	1	0.01	97	1.35	5	0.07	19	0.26	-	-	25	1.32	1	0.05	-	-	9	0.43
山口県	-	-	105	2.14	-	-	15	0.31	1	0.11	3	0.33	-	-	-	-	-	-
徳島県	1	0.05	18	0.90	2	0.10	1	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	1	0.03	38	1.31	1	0.03	7	0.24	-	-	2	0.67	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	28	0.76	1	0.03	33	0.89	-	-	21	2.63	-	-	-	-	1	0.17
高知県	-	-	12	0.40	-	-	30	1.00	-	-	5	1.67	-	-	-	-	1	0.14
福岡県	-	-	99	0.83	9	0.08	78	0.65	4	0.15	14	0.54	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	21	0.91	1	0.04	5	0.22	-	-	1	0.25	-	-	-	-	3	0.50
長崎県	-	-	48	1.09	-	-	7	0.16	3	0.38	3	0.38	-	-	1	0.08	1	0.08
熊本県	-	-	60	1.25	1	0.02	17	0.35	-	-	14	1.56	1	0.07	3	0.20	-	-
大分県	-	-	17	0.47	-	-	29	0.81	-	-	1	0.20	-	-	1	0.09	-	-
宮崎県	-	-	87	2.42	-	-	35	0.97	1	0.17	13	2.17	-	-	1	0.14	2	0.29
鹿児島県	-	-	17	0.30	4	0.07	36	0.64	-	-	5	0.71	-	-	-	-	2	0.17
沖縄県	1	0.03	20	0.59	-	-	11	0.32	-	-	17	1.70	-	-	1	0.14	15	2.14

報告数・定点当り報告数，疾病・都道府県別 2007年22週

	クラミジア肺炎(オウム病を除く)		成人麻しん		RSウイルス感染症
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数
総　数	12	0.03	65	0.14	222
北海道	-	-	2	0.09	26
青森県	-	-	1	0.17	3
岩手県	-	-	-	-	2
宮城県	2	0.17	9	0.75	1
秋田県	-	-	-	-	-
山形県	2	0.20	-	-	4
福島県	-	-	2	0.29	15
茨城県	-	-	-	-	3
栃木県	-	-	-	-	7
群馬県	-	-	1	0.13	-
埼玉県	1	0.11	2	0.22	3
千葉県	-	-	1	0.13	4
東京都	1	0.04	23	1.00	8
神奈川県	-	-	12	1.33	7
新潟県	2	0.17	2	0.17	4
富山県	-	-	-	-	-
石川県	-	-	1	0.20	1
福井県	-	-	1	0.17	1
山梨県	-	-	1	0.10	-
長野県	-	-	1	0.09	1
岐阜県	-	-	-	-	1
静岡県	-	-	-	-	1
愛知県	3	0.20	-	-	3
三重県	-	-	-	-	7
滋賀県	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-
大阪府	1	0.07	1	0.07	41
兵庫県	-	-	-	-	10
奈良県	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	12
広島県	-	-	5	0.24	3
山口県	-	-	-	-	4
徳島県	-	-	-	-	1
香川県	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	1
高知県	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	11
佐賀県	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	7
大分県	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	4
鹿児島県	-	-	-	-	14
沖縄県	-	-	-	-	12

獣医師が届出を行う感染症と対象動物

注)報告数は感染実験等の学術的研究による発生を除く。

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別　2007年22週

	エボラ出血熱		マールブルグ病		ペスト		重症急性呼吸器症候群（SARS）						細菌性赤痢		ウエストナイル熱		エキノコックス症	
	サル		サル		プレーリードッグ		イタチアナグマ		タヌキ		ハクビシン		サル		鳥類		犬	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総　数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別　2007年22週

	インフルエンザ(H5N1)	
	鳥類	
	報告数	累積
総　数	-	5
北海道	-	-
青森県	-	-
岩手県	-	-
宮城県	-	-
秋田県	-	-
山形県	-	-
福島県	-	-
茨城県	-	-
栃木県	-	-
群馬県	-	-
埼玉県	-	-
千葉県	-	-
東京都	-	-
神奈川県	-	-
新潟県	-	-
富山県	-	-
石川県	-	-
福井県	-	-
山梨県	-	-
長野県	-	-
岐阜県	-	-
静岡県	-	-
愛知県	-	-
三重県	-	-
滋賀県	-	-
京都府	-	-
大阪府	-	-
兵庫県	-	-
奈良県	-	-
和歌山県	-	-
鳥取県	-	-
島根県	-	-
岡山県	-	1
広島県	-	-
山口県	-	-
徳島県	-	-
香川県	-	-
愛媛県	-	-
高知県	-	-
福岡県	-	-
佐賀県	-	-
長崎県	-	-
熊本県	-	1
大分県	-	-
宮崎県	-	3
鹿児島県	-	-
沖縄県	-	-

感染症週報　第9巻　第22号　2007年6月15日発行
発　行：国立感染症研究所
厚生労働省健康局結核感染症課
厚生労働省大臣官房統計情報部
事務局：国立感染症研究所感染症情報センター
〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
ＴＥＬ：03-5285-1111
ＦＡＸ：03-5285-1129
ＵＲＬ：http://idsc.nih.go.jp/index-j.html
＜国立感染症研究所　感染症情報センター＞
http://www.mhlw.go.jp/
＜厚生労働省＞
http://www.forth.go.jp/
＜旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所)＞

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。
また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。
「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。
なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。